

こども「いきいき」生き物調査 2021 結果報告書



令和3年12月

横浜市環境科学研究所

目次

1	目的	1
2	調査方法	1
3	調査対象とした生き物	2
4	調査結果と考察	2
	(1) 回答状況と種別調査結果	2
	(2) 季節別確認者数の比較について	14
	(3) 確認率の高かった生き物について	15
5	おわりに	16

参考文献

参考資料

1 目的

横浜市では、横浜市環境管理計画（生物多様性横浜行動計画を含む）^{※1}において、次世代を担う子どもたちに対するプロモーションの重要性を挙げている。また、生物多様性に関する取組を進めるにあたって、科学的データは欠かせないものであるが、市内全域を対象とした調査は近年実施されていなかった。

そこで平成 25 年に、地域の自然や生き物への関心を高めてもらうとともに、生物多様性保全に資する基礎データを取得することを目的として、小学生による市内全域を対象とした生き物調査を開始した。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大を受けて調査実施を見合わせたが、本年令和 3 年度は、調査開始 9 年目、8 度目にあたる調査を実施したので結果を報告する。

2 調査方法

市立小学校（義務教育学校 2 校含む。以下同じ。）341 校の 5 年生 30,271 人（令和 3 年 5 月 1 日現在）に調査票を配布し、「家や学校の近く」（＝学区内）で見つかったり、鳴き声を聞いたりした生き物について、季節ごとに○をつけてもらうものとした（図 1）。調査方法や対象種の選定にあたっては、環境教育や生物観察を実践している教職員や教育委員会事務局指導主事による検討委員会を設置し、ご意見をいただいた。

調査票は、夏休み前の令和 3（2021）年 6 月下旬に教育委員会事務局を通じて各学校へ配布し、夏休み明けの 9 月に回収した。調査票回答期間は 2 か月強であるが、調査の対象期間は令和 2（2020）年 9 月 1 日～令和 3（2021）年 8 月 31 日の 1 年間とした。

調査票配布の際には、他の学年であっても希望があれば調査票を追加配布することを伝えた。

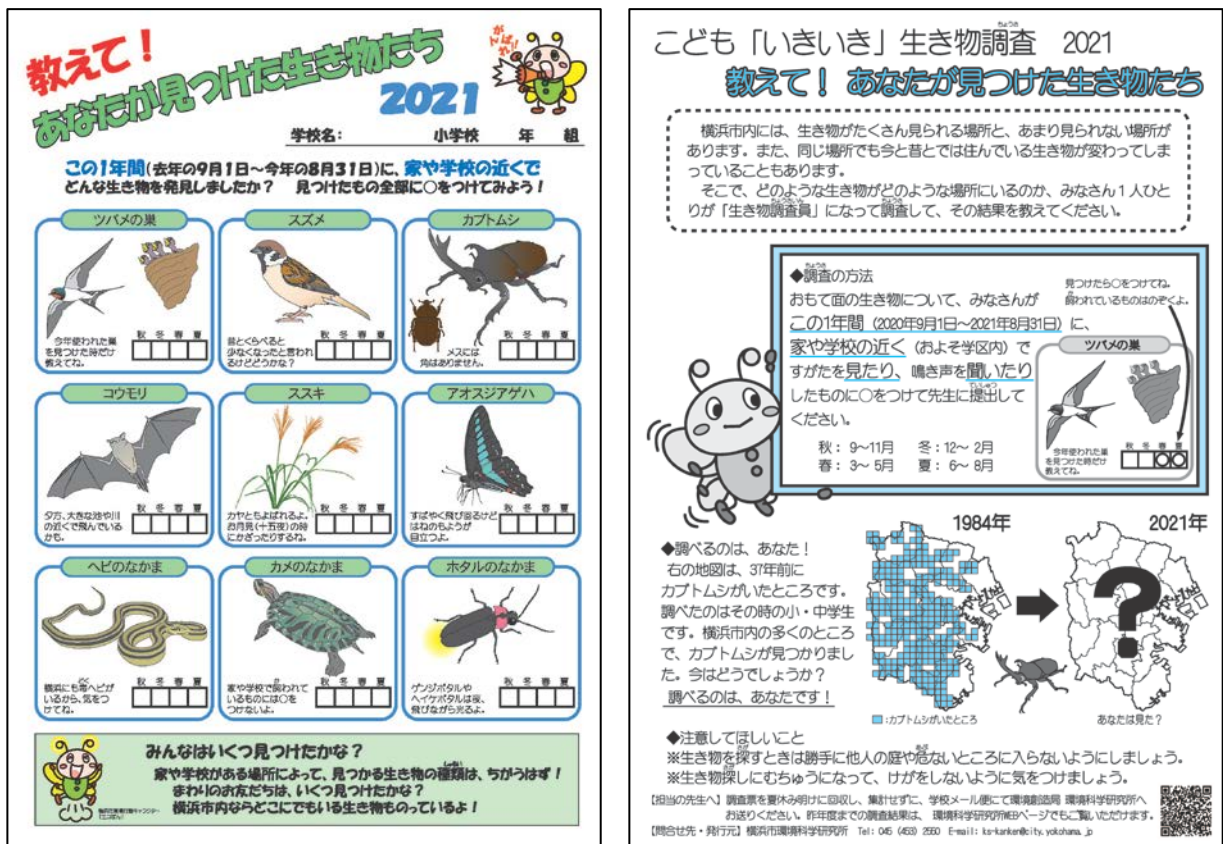


図 1 調査票

※1 生物多様性横浜行動計画（ヨコハマ b プラン）は、平成 23 年 4 月策定。平成 30 年 11 月改定に伴い横浜市環境管理計画に組み込んだ。

3 調査対象とした生き物

今回、調査対象とした生き物は、次の9種類である。同定が比較的容易であるもので、市内の自然環境を指標すると思われるもの、分布に偏りがあると思われるもの、分布域が拡大あるいは縮小傾向にあると思われるものなどを選定した。

ツバメの巣	スズメ	カブトムシ
コウモリ	ススキ	アオスジアゲハ
ヘビのなかま	カメのなかま	ホタルのなかま

4 調査結果と考察

(1) 回答状況と種別調査結果

小学校 341 校のうち、167 校、11,037 人から回答を得た。小学 5 年生による回答は 166 校、10,947 人で、回答率は 49% (166 校/341 校^{※2}) 及び 36% (10,947 人/30,271 人) であった。そのほか、3 年生 (1 校 : 8 名)、4 年生 (1 校 : 3 名) から回答をいただき、5 年生とともに解析に用いた (図 2、表 1)。

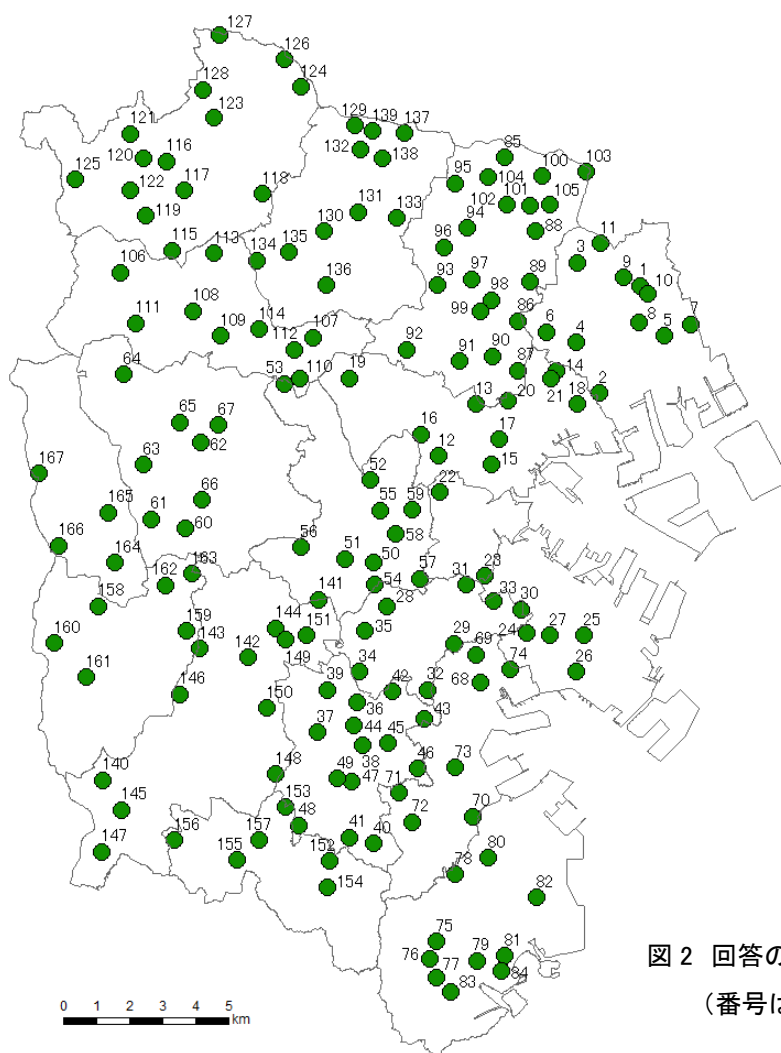


図 2 回答のあった小学校位置
(番号は表 1 に対応)

※2 小学校 341 校のうち、2 校は 5 年生が在学していないが分母に含めた。

表1 調査票回答状況

No.	区名	小学校名	回答数	No.	区名	小学校名	回答数	No.	区名	小学校名	回答数
1	鶴見	下末吉	29	60	旭	さちが丘	98	115	青葉	さつきが丘	88
2		岸谷	51	61		希望ヶ丘	77	116		みたけ台	74
3		駒岡	107	62		今宿南	45	117		もえぎ野	48
4		上寺尾	19	63		笹野台	5	118		荏田西	121
5		鶴見	81	64		上川井	13	119		榎が丘	90
6		馬場	101	65		都岡	46	120		鴨志田第一	3
7		平安	126	66		二俣川	81	121		鴨志田緑	69
8		豊岡	19	67		今宿	15	122		桂	51
9		末吉	118	68		磯子	53	123		黒須田	101
10		市場小けやき分校	195	69		滝頭	166	124		新石川	105
11		上末吉	8	70		梅林	96	125		奈良の丘	29
12	神奈川	三ツ沢	114	71	磯子	洋光台第一	74	126	美しが丘	23	
13		神橋	81	72		洋光台第二	136	127	美しが丘西	131	
14		西寺尾第二	103	73		屏風浦	67	128	嶮山	56	
15		青木	60	74		根岸	70	129	すみれが丘	20	
16		中丸	32	75		釜利谷	30	130	茅ヶ崎台	13	
17		二谷	43	76		釜利谷南	16	131	茅ヶ崎東	116	
18		子安	5	77		高舟台	69	132	牛久保	83	
19		菅田の丘	56	78		西富岡	4	133	勝田	3	
20		白幡	115	79		八景	11	134	川和	66	
21		西寺尾	53	80		富岡	16	135	川和東	145	
22		西	宮谷	13		81	文庫	71	136	都田	60
23	東		29	82	並木第四	40	137	東山田	101		
24	中		山元	34	83	六浦	47	138	南山田	106	
25		大鳥	66	84	金沢	12	139	北山田	74		
26		間門	84	85	港北	下田	88	140	横浜深谷台	58	
27		立野	75	86		菊名	143	141	境木	60	
28	永田	53	87	港北		120	142	秋葉	105		
29	藤田	53	88	綱島東		81	143	上矢部	64		
30	石川	46	89	師岡		135	144	川上北	3		
31	太田	21	90	篠原		13	145	大正	65		
32	藤の木	94	91	篠原西		100	146	鳥が丘	83		
33	南吉田	48	92	小机		92	147	東俣野	47		
34	別所	69	93	新羽		70	148	南舞岡	34		
35	六つ川	30	94	新吉田		49	149	品濃	87		
36	港南	下永谷	120	95		新吉田第二	71	150	舞岡	44	
37		丸山台	54	96	新田	79	151	平戸	103		
38		吉原	100	97	太尾	92	152	桜井	59		
39		芹が谷南	35	98	大綱	149	153	小山台	50		
40		港南台第一	24	99	大豆戸	65	154	上郷	72		
41		港南台第二	2	100	日吉台	96	155	西本郷	42		
42		桜岡	87	101	日吉南	111	156	千秀	29		
43		上大岡	64	102	北綱島	85	157	本郷台	51		
44		相武山	73	103	矢上	79	158	いずみ野	47		
45		南台	75	104	高田東	35	159	岡津	89		
46		日下	43	105	箕輪	10	160	上飯田	69		
47	日野	8	106	緑	いぶき野	117	161	中和西	86		
48	日野南	17	107		鴨居	46	162	緑園西	54		
49	野庭すずかけ	52	108		三保	121	163	緑園東	49		
50	保土ヶ谷	岩崎	51		109	森の台	144	164	原	123	
51		初音が丘	91		110	竹山	30	165	三ツ境	88	
52		常盤台	96		111	霧が丘義務教育学校	81	166	瀬谷さくら	48	
53		新井	49		112	緑	126	167	大門	55	
54		瀬戸ヶ谷	7		113	山下みどり台	43	合計	18区	167校	11,037人
55		星川	53		114	中山	96				
56		藤塚	36								
57		富士見台	103								
58		保土ヶ谷	38								
59		峯	63								

学校ごとに、対象の生き物を見たり鳴き声を聞いたりした割合（＝確認率）を集計し、市内全域や区ごとに数値比較や作図による可視化を行った。可視化にあたっては、学校ごとの確認率の高低を色の濃淡で示すこととし、GIS ソフト（ArcGIS^{※3}）を用いた Kriging 法により、空間補間を行った。回答は季節ごとに○をつけるものとしたが、集計は季節の区別なく、いずれかの季節に○があれば、その生き物を確認したものとみなした。

市内全域や区ごとの数値比較には、167 校、11,037 人のデータを使用し、学校ごとの数値比較や作図には、回答数が 10 人に満たなかった 10 校を除いた 157 校、10,989 人のデータを使用した。

表 2 に区別確認率の違いを、次頁以降に種別の結果と考察を示す。

なお、これまで 9 年間 8 回の調査で対象とした生き物のいくつかについては、1980～90 年代に 3 回^{※4}、小・中学生、高校生を対象としたアンケート（聞き取り）による分布調査が行われている（本年はカブトムシ、コウモリ、ヘビのなかま、ホタルのなかまが該当）。当時の調査は市内を約 1 km 四方のメッシュで区切り、メッシュごとに対象とする生き物が確認できたかできなかったかを示すもので、今回の結果とは表示方法が異なるが、当時の状況を知る貴重な資料として比較を行った。これまで調査対象とした生き物については、巻末の資料 13 に示した。

2021 年調査結果の特徴として、生き物の市全域の確認率が過年度に比べ、大きく減少したの多いことが挙げられる（資料 13）。アオスジアゲハ以外の 8 種類の生き物は、過年度に比べ約 3～11 ポイント確認率を下げている、これまでにない傾向である。新型コロナウイルス感染拡大を受けた行動自粛が生き物とのふれあいの機会減少につながっている可能性が考えられる。



【参考】横浜市 18 区の配置

表 2 区別確認率の違い

区名	回答数	ツバメの巣	スズメ	カブトムシ	コウモリ	ススキ	アオスジアゲハ	ヘビのなかま	カメのなかま	ホタルのなかま
鶴見	854	67%	94%	50%	33%	67%	70%	23%	25%	20%
神奈川	662	72%	94%	50%	33%	67%	63%	30%	42%	25%
西	42	69%	95%	57%	48%	71%	83%	40%	60%	17%
中	259	83%	96%	61%	22%	66%	86%	34%	41%	26%
南	414	58%	94%	54%	23%	66%	67%	35%	32%	29%
港南	754	61%	93%	47%	34%	65%	60%	23%	30%	24%
保土ヶ谷	587	68%	91%	55%	38%	62%	65%	38%	39%	25%
旭	380	71%	87%	63%	38%	66%	55%	36%	35%	32%
磯子	662	66%	94%	48%	35%	66%	65%	31%	32%	28%
金沢	316	72%	95%	42%	30%	52%	67%	28%	38%	24%
港北	1763	71%	93%	59%	39%	69%	63%	30%	36%	23%
緑	804	67%	91%	62%	39%	73%	63%	38%	38%	38%
青葉	989	74%	85%	55%	45%	74%	58%	28%	31%	33%
都筑	787	54%	90%	63%	35%	74%	69%	31%	49%	24%
戸塚	753	63%	90%	66%	39%	74%	68%	33%	34%	31%
栄	303	76%	97%	47%	36%	70%	64%	28%	34%	35%
泉	394	63%	90%	59%	36%	69%	56%	32%	37%	29%
瀬谷	314	67%	87%	71%	26%	65%	50%	30%	25%	21%
総計	11037	67%	92%	56%	36%	69%	64%	31%	35%	27%

※3 ESRI 社製。2013 年は ver.9.1 を、2014 年以降は ver.10.2 を使用。

※4 第 1 回目調査：1984 年 1～10 月 協力児童数 5,000 人超
 第 2 回目調査：1987 年 11 月、1988 年 6 月 協力児童数 13,981 人
 第 3 回目調査：1991 年 6～9 月 協力児童・生徒数 6,763 人

【ツバメの巣】

～今年使われた巣を見つけた時だけ教えてね。～

確認した人： 7,433 人/11,037 人 (67%)

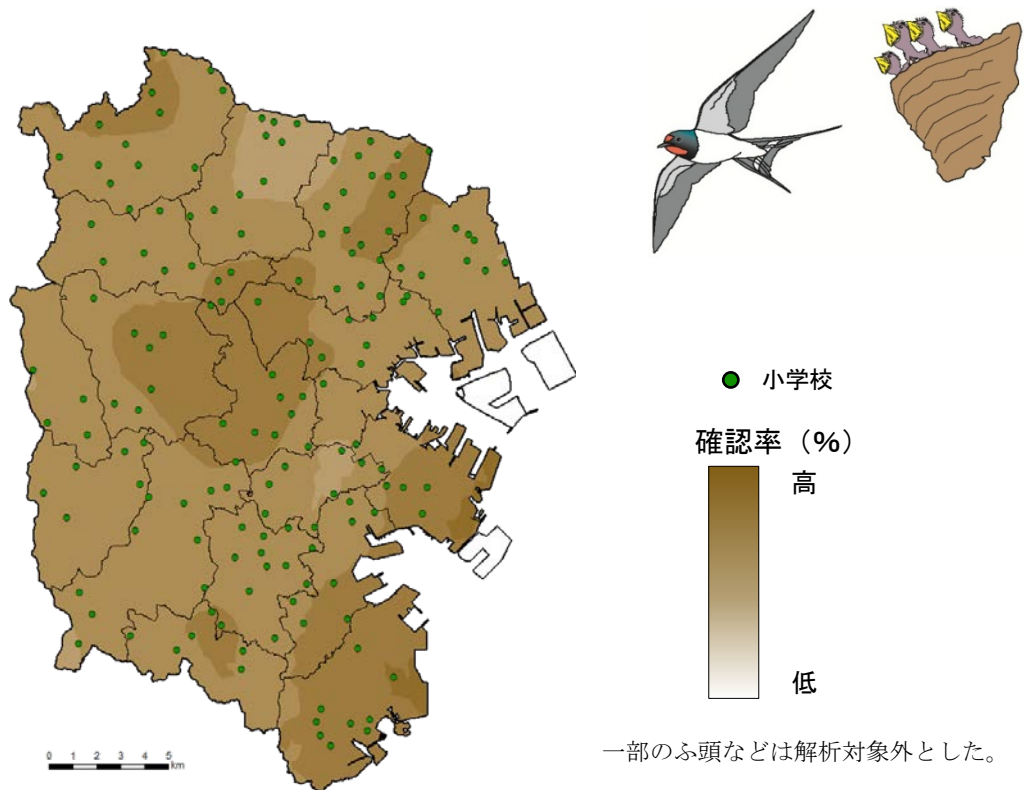


図 3-1-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

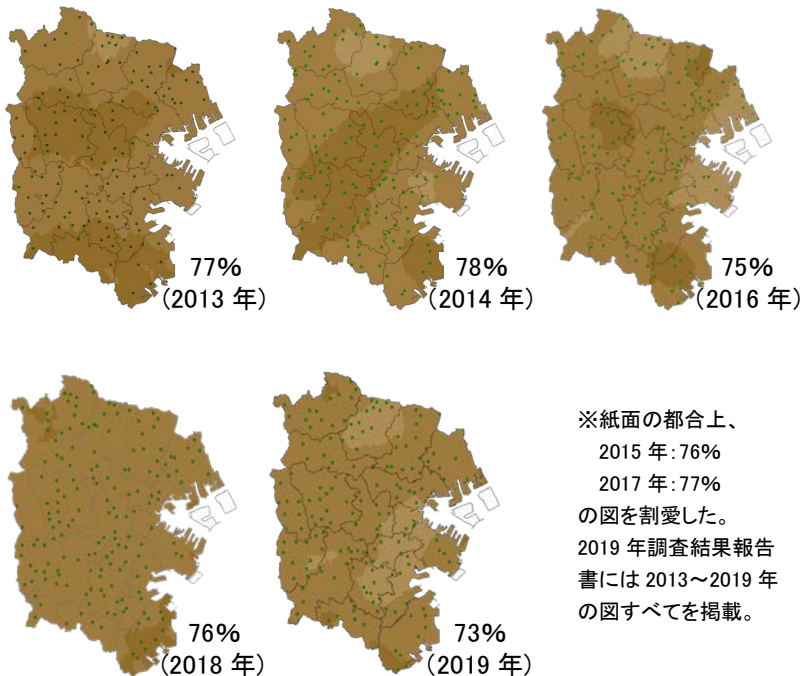


図 3-1-2 過年度調査結果

学校（回答数 10 人以上の 157 校）ごとの確認率は 19% から 98% とばらついた。これまで、全体の確認率は 73～78% で推移し、2016 年や 2019 年に減少の可能性が示唆されていたが^{※5}、今回の確認率 67% はそれらを大きく下回った。

旭区周辺に確認率が高い地域があること、都筑区周辺に低い地域があることなど、多くの年で共通した特徴が見られており、確認率の低下は、コロナ禍による行動自粛が影響しているものと思われる。

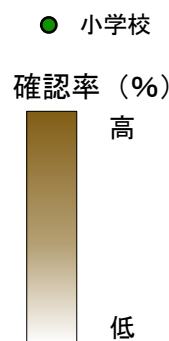
国内ではいくつかの調査でツバメが減少しているという結果もあり^{※6}、今後も継続して調査を行いたい。

※5 2016 年の前後、2019 年前後は統計的 (Z 検定 $p < 0.01$) に有意な差 (= 確認率が減少または増加) であった。

※6 例えば、鳥類繁殖分布調査会 (2021) 全国鳥類繁殖分布調査報告日本の鳥の今を描こう 2016-2021 年. 175pp. また、石川県健民運動推進本部では小学 6 年生が調査を行い、2019 年のツバメの成鳥や巣の数が 1972 年度以降、最も少なかったと報告している。

【スズメ】 ～昔とくらべると少なくなったと言われるけどどうかな？～

確認した人： 10,122 人/11,037 人 (92%)



一部のふ頭などは解析対象外とした。

図 3-2-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

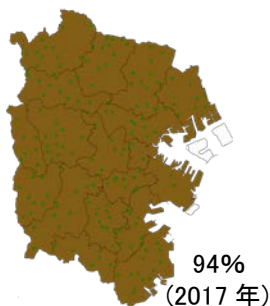


図 3-2-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は 74% から 100% で、全体の確認率も 92% と比較的高めであった。市内では個体数の多い鳥であり、都市部においても公園内の樹木のウロや、ビルのシャッターのすき間、道路標識を支える単管パイプなどで繁殖する姿が確認できる。2017 年に継ぐ 2 回目の調査であるが、いずれの結果からも市内どこでも確認できる知名度の高い鳥と言える。2017 年にもその傾向がみられたが、どちらかといえば市内東側での確認率が高いようである。

本来、農地などに見られるスズメは全国的に減少傾向にあり^{※7}、2008 年頃のスズメの個体数は 1990 年頃の個体数の 20～50% 程度に減少したとの推定^{※8}や、都市部では農村部よりスズメの増殖率が低いとの報告^{※9}もある。一方で、東京都では、郊外より都心部の方がスズメの生息密度が高いことが報告されている^{※10}。横浜においても東京都と同様に臨海都市部で増加傾向にあるのかもしれない。今後も、都市化や生活様式の変化によってスズメの個体数が変化することも考えられる。

※7 鳥類繁殖分布調査会 (2021) 全国鳥類繁殖分布調査報告日本の鳥の今を描こう 2016-2021 年, 175pp.

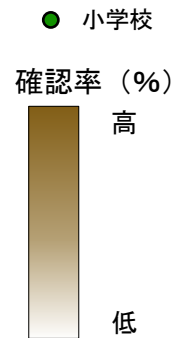
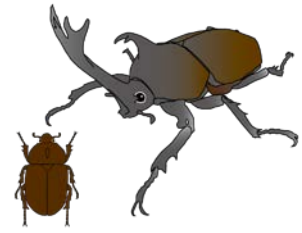
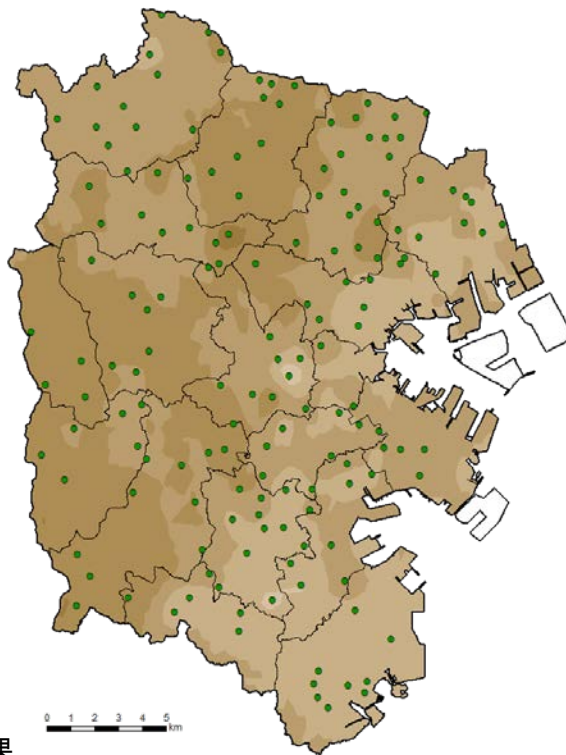
※8 三上修 (2009) 日本におけるスズメの個体数減少の実態. 日本鳥学会, 58 (2), 161-170.

※9 三上修 (2009) スズメはなぜ減少しているのか? 都市部における幼鳥個体数の少なさからの考察. Bird Research, 5, A1-A8.

※10 植田睦之 (2021) 都市鳥でもやはり郊外の方が好適? 東京都鳥類繁殖分布調査に基づく鳥の密度分布. バードリサーチニュース 2021 年 3 月, 3 【参加型調査】.

【カブトムシ】 ～メスには角はありません。～

確認した人： 6,211 人/11,037 人 (56%)



一部のふ頭などは解析対象外とした。

図 3-3-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

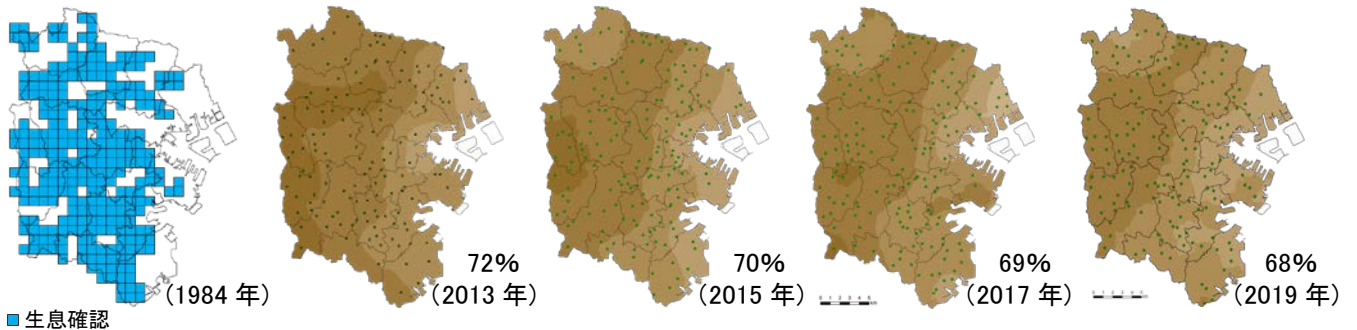


図 3-3-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は 21% から 84% であった。市内全体の確認率は 2013 年の 72% から徐々に減少傾向^{※11}にあったが、今回の確認率の低下は、コロナ禍による行動自粛が影響しているものと思われる。市内西側、緑の 10 大拠点（巻末の 資料 4 参照）での確認率が高く、東側の臨海都市部で低い傾向は、これまでと同様であった。暑い夏にはカブトムシの成虫の個体数が少ないこと、成虫の個体数が少なかった翌年は、繁殖率が高くなり、結果として個体数が増えることなどが報告されている^{※12}。里山的環境を指標する生き物としてノコギリクワガタと交互に調査を行っているが、両種は幼虫の育成場所、ライフサイクル等に違いがある。2019 年までは 2 種の調査結果に大きな違いはみられなかったが、今後の変化に注目したい。

※11 2013～2015 年、2017～2019 年は、統計的（Z 検定 $p < 0.01$ ）に有意な差であった（＝確認率が減少した）。

※12 桐谷圭治（2012）里地里山の生物指標としてのカブトムシの基準個体群密度の設定と個体群動態. 昆虫（ニューシリーズ）, 15（4）, 232-242.

【コウモリ】 ～夕方、大きな池や川の近くで飛んでいるかも。～

確認した人： 3,962 人/11,037 人 (36%)

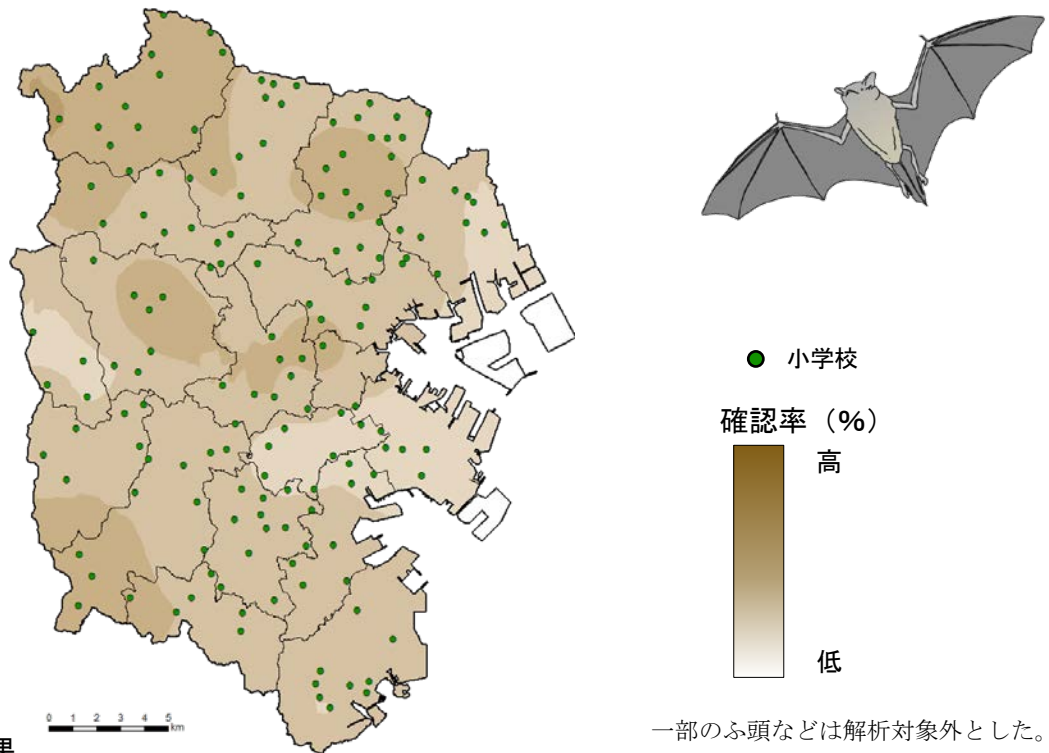


図 3-4-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

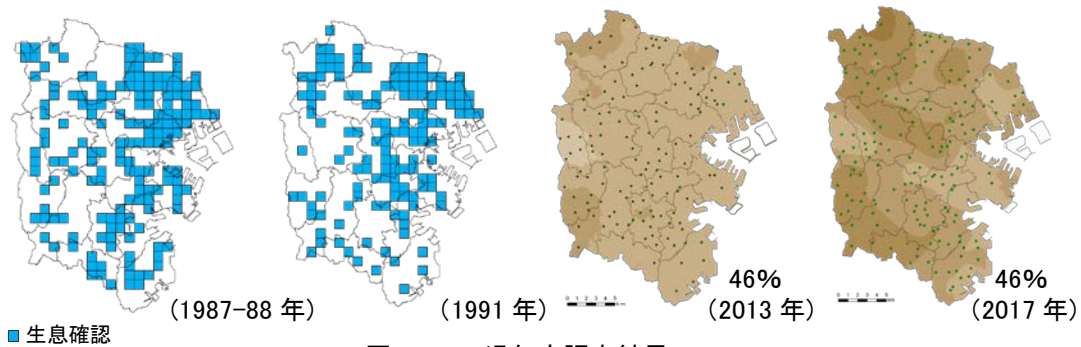


図 3-4-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は13%から85%であった。全体の確認率が2013年、2017年の46%から約10ポイント低下したのは、他の生き物同様、コロナ禍による行動自粛が影響しているものと思われる。

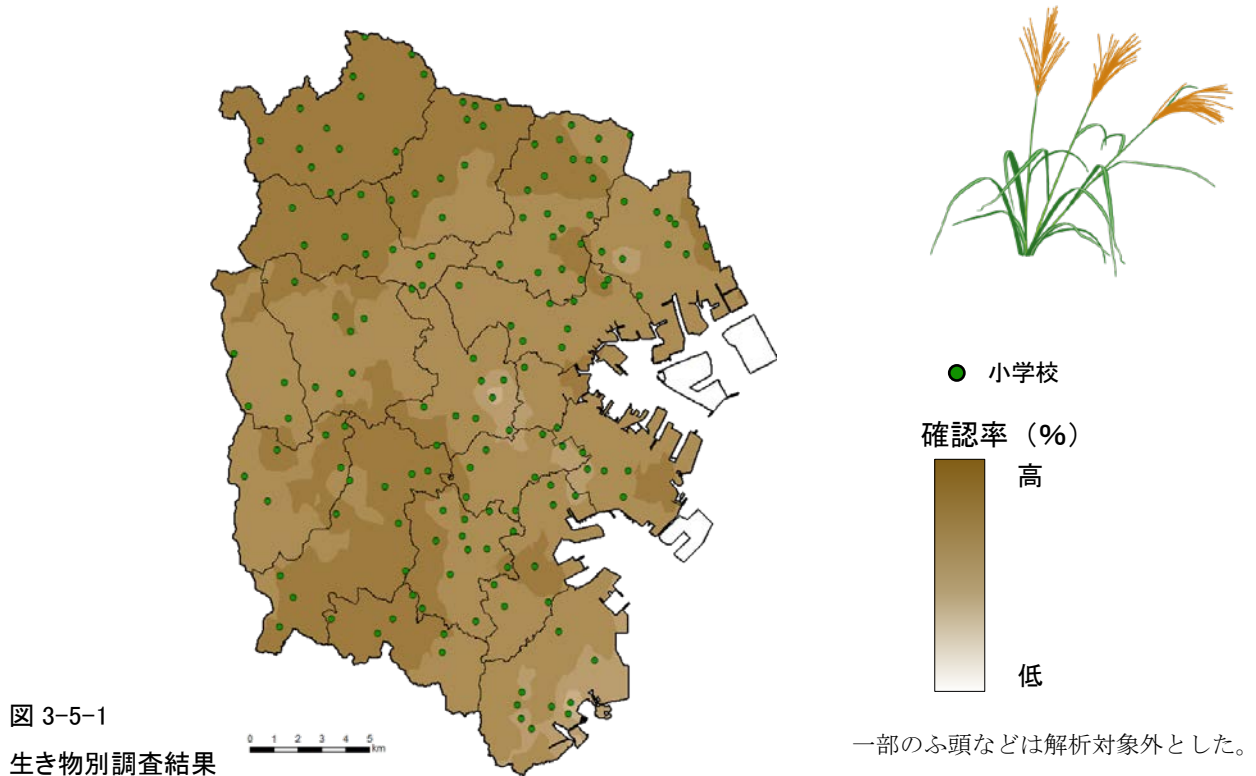
市内で見られるコウモリは、都市部での生活に適応したアブラコウモリと考えられ、市内全域に分布しているものと思われる。1987～1988年、1991年に実施した調査では、東部（鶴見川などの河川下流部や臨海部）での確認報告が多かったが、2017年はむしろ西部や市の中央を西から東へ流れる帷子川沿いに確認率の高い地域が見られ、今回もおおむね同様の傾向と言える。

1999年に発行された横浜市陸域の生物相・生態系調査報告書^{*13}ではアブラコウモリがそれ以前に比べ増えている傾向があると指摘されており、今後の変化に注目したい。

*13 (株)カーター・アート環境計画(1999)横浜市陸域の生物相・生態系調査報告書. 423pp.

【ススキ】 ～カヤともよばれるよ。お月見（十五夜）の時にかざったりするね。～

確認した人： 7,562 人/11,037 人 (69%)



一部のふ頭などは解析対象外とした。

【過年度結果】

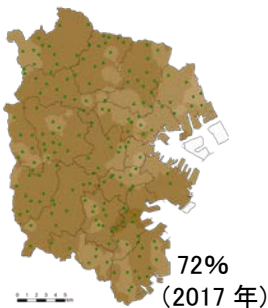


図 3-5-2 過年度調査結果

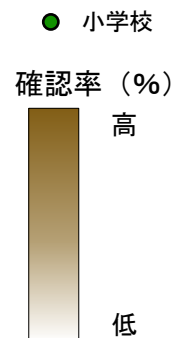
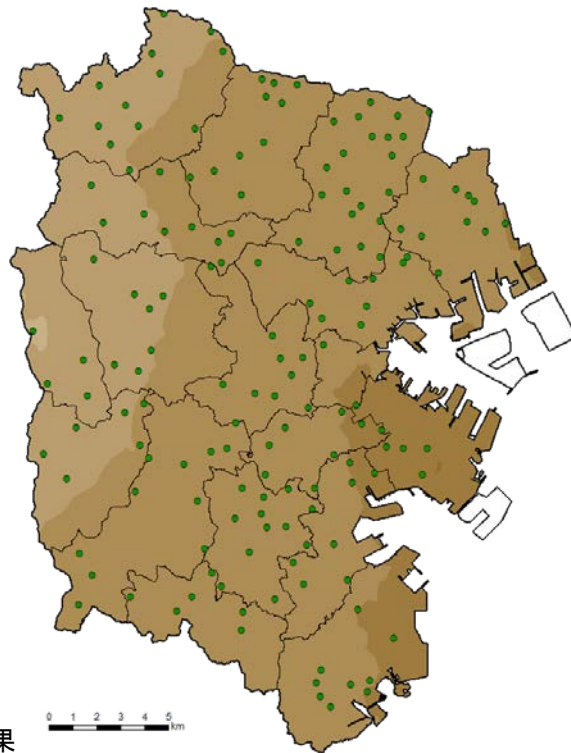
知名度が高い植物であるが、学校ごとの確認率は 27%から 88%とばらつき、どちらかと言えば市内西部の確認率が高いようであった。

秋のお月見（十五夜）の際に団子とともに飾る（供える）植物として知られ、秋の七草にも選ばれていることから、古来の文化的行事との関わりをうかがい知ること、あるいは、調査に参加する児童の参加意欲向上を目的として調査の対象とした。乾燥した土地に生えるススキに対し、河川敷などやや湿った土地にはオギが生える。両者はよく似ており、調査結果はそれらを合わせたものと考えられる。

ススキは町なかでも、線路沿いや幹線道路の脇、中央分離帯などに見られるが、市内西部で確認率が高めであったことは、まとまった草地環境の有無を反映しているのかもしれない。いずれにしても市内では草地面積は小さく、まとまった草地環境は貴重と言える。市全体の確認率が今後どのように変化するかが注目される。

【アオスジアゲハ】 ～すばやく飛び回るけど、はねのもようが目立つよ。～

確認した人： 7,034 人/11,037 人 (64%)



一部のふ頭などは解析対象外とした。

図 3-6-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

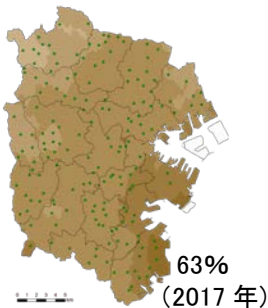


図 3-6-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は 31% から 92% であった。樹木の梢など、高い位置を高速で飛ぶこともあるが、はねの模様が目立つ、大きめのチョウであるため、確認率は比較的高かった。

東側の臨海都市部で確認率が高かったのは、本種が、町なかに街路樹として植栽されることも多いクスノキやタブノキに産卵するためと考えられる。都市部においては最も多く見られるチョウの 1 種であり^{*14}、都市部での増加も指摘されている^{*15}。

また、本種は本来、南方系のチョウであり、国内では現在、東北地方より南に分布し、北海道では見られない。市内では全域に見られるが、温暖化の進行などにより、今後、確認率は変化するかもしれない。

今回、アオスジアゲハ以外の全て (8 種類) の生き物において、過年度に比べ確認率が低下しており、コロナ禍による行動自粛が影響しているものと思われる。それを考慮すると、アオスジアゲハは数値以上に確認しやすい生き物になっているのかもしれない。

*14 七里浩志ら (2016) グランモール公園における鳥類・昆虫類調査結果について. 横浜市環境科学研究所報, 40, 18-22.

*15 吉田宗弘 (2004) チョウ類群集による都市環境評価のこころみ. 環動昆, 15 (3), 179-187.

【へびのなかま】 ～横浜にも毒へびがいるから、気をつけてね。～

確認した人： 3,386 人/11,037 人 (31%)

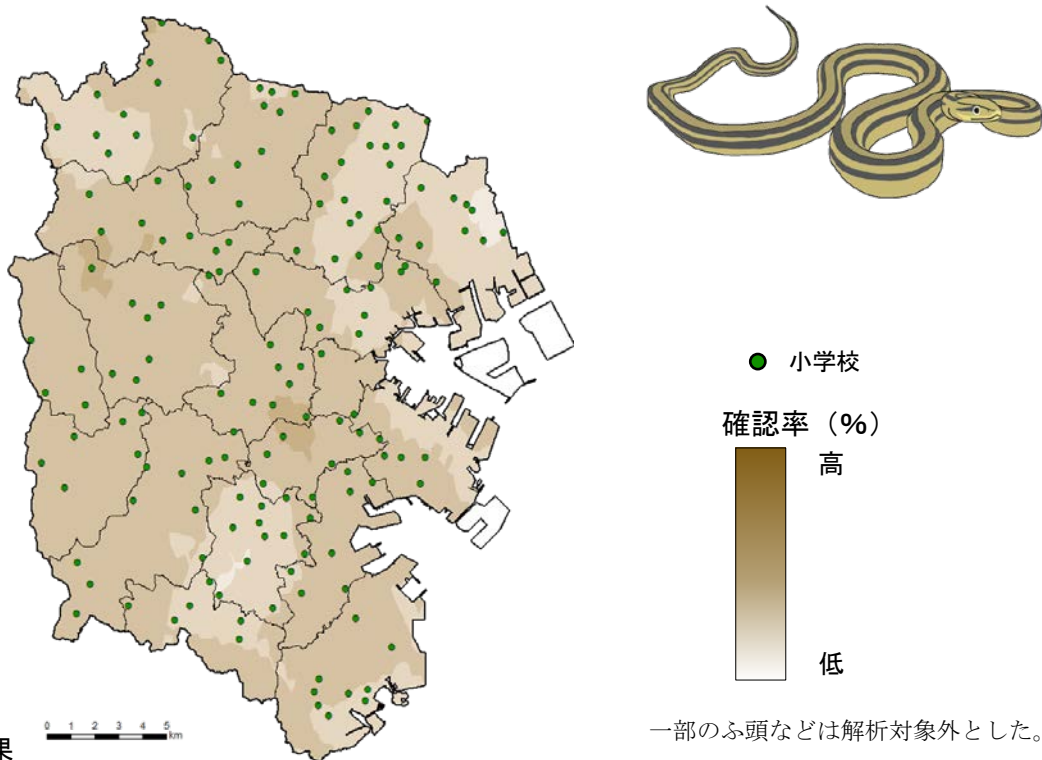


図 3-7-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

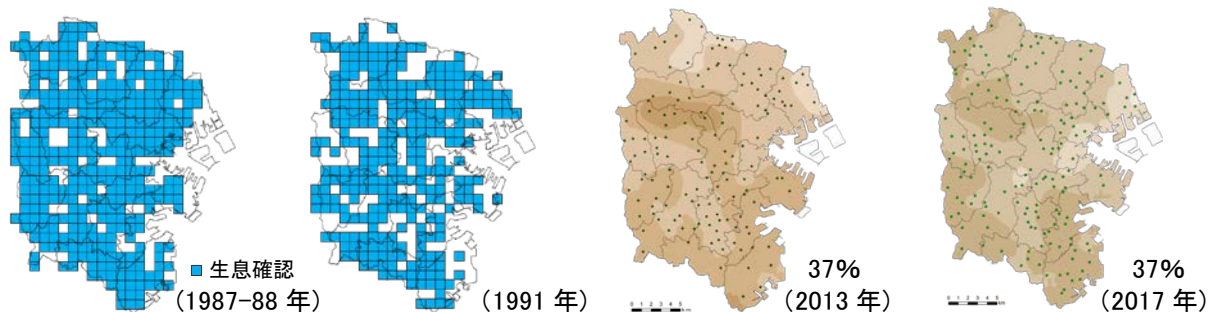


図 3-7-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は5%から62%であった。また、全体の確認率は2013年、2017年の37%から約6ポイント減少した。

2013年、2017年調査結果は、全体の確認率だけでなく、確認率の高低（色の濃淡）のパターンも類似しており、多摩・三浦丘陵にあたる地域（巻末の資料1参照）で確認率が高いこと、全体としては1980年代、1990年代に比べ、児童にとってなじみのうすい生き物となりつつある可能性があることを挙げた。今回の調査結果もそれらを大きく否定するものではないと思われるが、確認率の高いエリアが無くなりつつ（減りつつ）あるようにも見える。学校ごとの確認率の最高値は、2013年は88%、2017年は75%と今回より高かった。

市内でよく見つかるへびはアオダイショウと考えられるが、水田などの水辺ではヒバカリ、ヤマカガシ（有毒）が見られ、その他、シマへび（右上の絵）、ニホンマムシ（有毒）、ジムグリ、シロマダラ、タカチホへびの8種が生息している。水田の減少などによるためか、ヤマカガシなどはなじみの薄いへびとなりつつある。

【カメのなかま】 ～家や学校で飼われているものには○をつけないよ～

確認した人： 3,894 人/11,037 人 (35%)

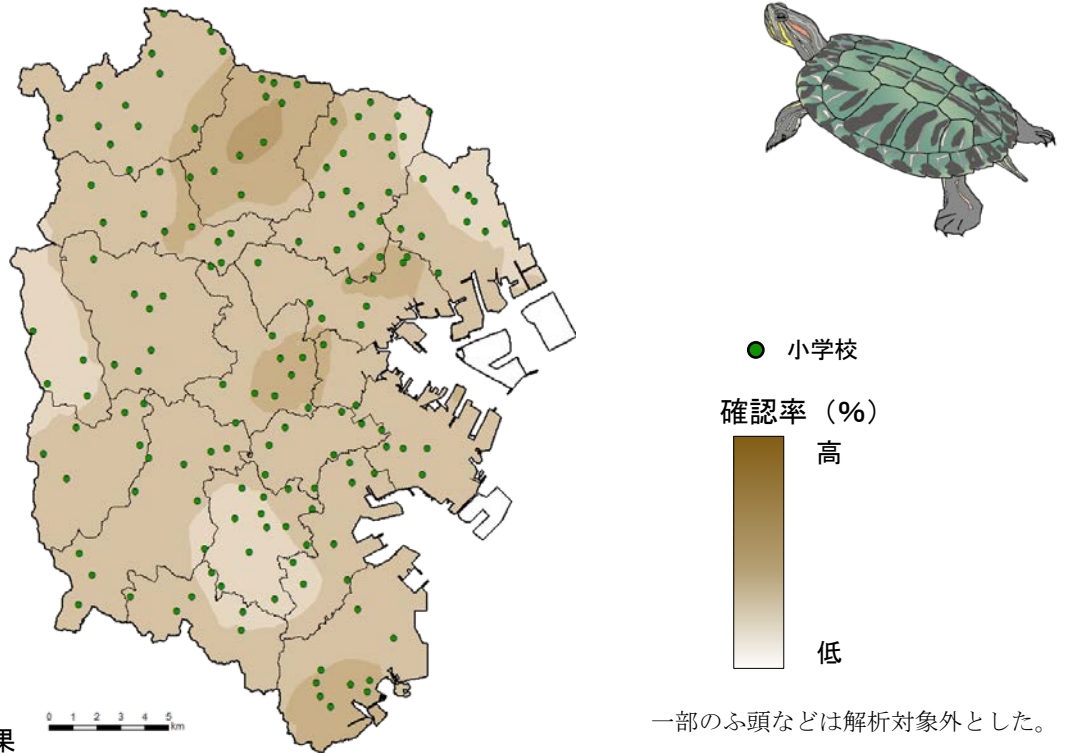


図 3-8-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

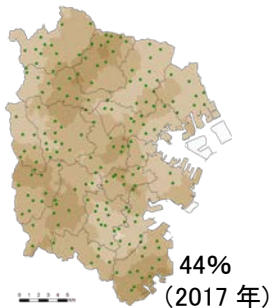


図 3-8-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は7%から92%であった。全体の確認率は2017年の44%から約9ポイント低下したが、確認率の高低（色の濃淡）は、ほぼ同様のパターンとなった。

市内には（ミシシッピ）アカミミガメのほか、クサガメ、ニホンイシガメ、ニホンスッポンなどが生息しており、いずれも池や河川などの淡水域もしくはその周辺で見られる。カミツキガメやミシシッピニオイガメといったペット由来のカメが確認される

こともある。確認率の高低は、河川の位置（巻末の資料10参照）だけでなく、市内に多数見られる公園池などの位置にも影響を受けていると考えられ、市の南北や東西での分布の偏りは見られなかった。

市内で見かけることの多いカメは外来種であるアカミミガメであり、在来種であるニホンイシガメを見かけることはまれである。ニホンイシガメよりは見かけることの多いクサガメについては、外来種であるとする説が提唱されているが、在来種である可能性を完全に否定することはできないという意見もある^{*16}。本調査での実施は難しいが、地域ごと、池ごとのカメの種類の違いに注目した詳細な調査ができると面白い。

*16 環境省（2015）クサガメを掲載しないことについて。我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト補足資料, 29.

【ホタルのなかま】 ～ゲンジボタルやヘイケボタルは夜、飛びながら光るよ。～

確認した人： 2,968 人/11,037 人 (27%)

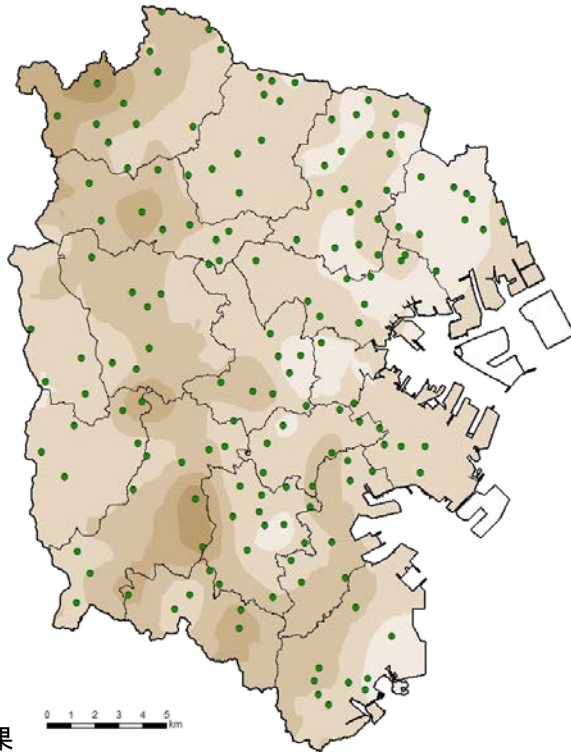
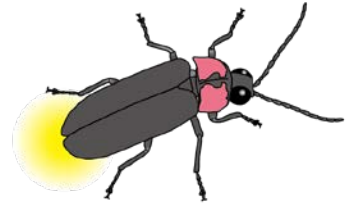


図 3-9-1
生き物別調査結果

一部のふ頭などは解析対象外とした。

【過年度結果】

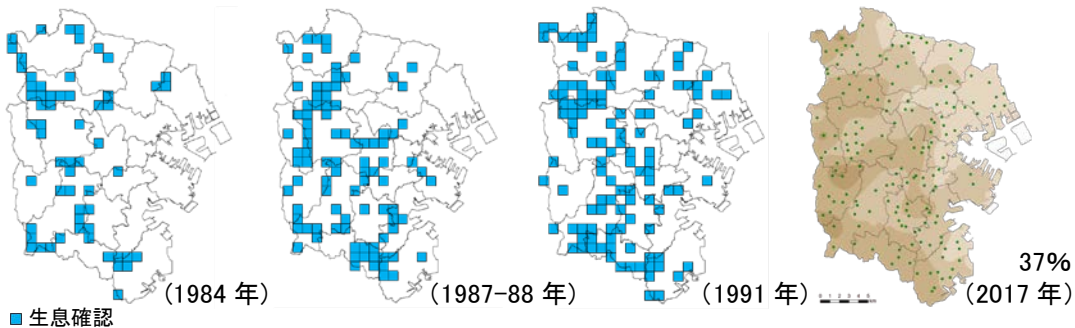


図 3-9-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は 3%から 70%であった。市内には学校のすぐそばでホタルを観察できるような地域もあり、確認率は地域によって大きくばらついた。確認率は、市内西側で高く、東側の臨海都市部で低い結果となった。特に確認率の高い（色の濃い）エリアは、ホタル生息地としてよく知られ、規模も比較的大きいエリアと一致するが、確認率の高低（色の濃淡）は、保護活動の有無といった、地域での注目度にも影響を受けていると考えられる。また、全体の確認率 10ポイントの低下はコロナ禍による行動自粛の影響が大きいと思われる。

人工的な明かりが少なく、河川源流域、あるいは、水田のような止水域などの環境（谷戸環境）が維持されていることを指標すると考えられ、2007 年、横浜ほたるの会調査のホタル生息地情報（図 3-9-3）ともおおむね一致する。



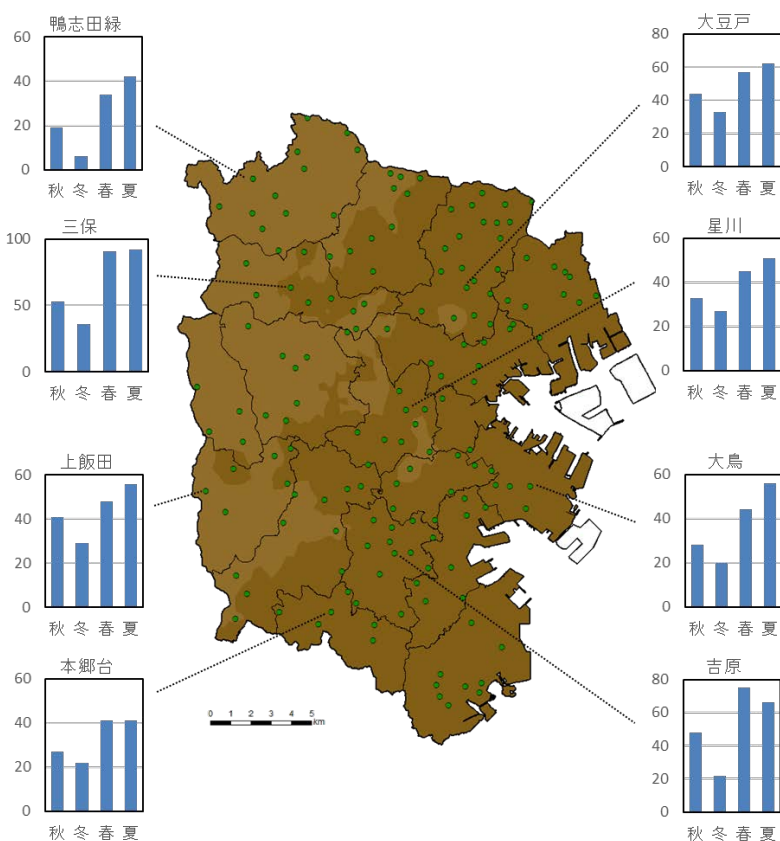
図 3-9-3
横浜のホタルの生息地
(2007 年横浜ほたるの会調査)

(2) 季節別確認者数の比較について

前述のとおり、調査票には生き物を確認した季節を区別して記入することとなっているが、集計は季節の区別なく、いずれかの季節に○があれば、その生き物を確認したものとみなしている。今回、調査対象とした生き物にも、一年中、いつでも確認できる生き物、特定の季節にしか確認できない生き物などが含まれる。そのうち、一年中確認できる可能性のあるスズメについて、いくつかの学校において季節別の集計を行った。

以下に結果と考察を示すが、過年度の結果から、どの生物も概して夏季の確認者数が多い傾向にあることがわかっている。アンケート実施時期（配布～回収）が夏季であることに起因する可能性があり、評価においては注意を要する。

【スズメ】



市内で一年中、確認できるが、繁殖期（春～夏）の前後や、水田の耕作状況、都市部か郊外かといった生息している環境の違いなどによって、スズメを見つけやすい季節が異なる可能性があり、市内東西南北の小学校、比較的確認率の高い小学校、低い小学校などについて、季節別確認状況を調べた。

いずれの学校も春、夏の確認数が多く、秋、冬の確認数が少なかった。実際に多く見られたことに加え、アンケート実施時期が夏季であったことに起因する可能性もある。また、本調査における秋～冬は、2020年9月～2021年2月にあたり、コロナ禍による行動自粛の影響も加味する必要があるかもしれない。

参加者10人以上の157校のうち、4番目に確認率の低かった青葉区鴨志田緑小学校（確認率77%）では、冬季の確認

率が9%（6人/69人）と、他校に比べ、より低めであったが、全体として明瞭な地域差は見いだせなかった。

図 4-1-1 季節別確認者数の違い その1(スズメ)

表 3-1 季節別確認者数の違い(スズメ)

No.	区名	小学校名	確認率	回答数	確認者数	確認した時季(複数回答あり)			
						秋	冬	春	夏
25	中	大鳥	95%	66	63	28	20	44	56
38	港南	吉原	86%	100	86	48	22	75	66
55	保土ヶ谷	星川	96%	53	51	33	27	45	51
99	港北	大豆戸	100%	65	65	44	33	57	62
108	緑	三保	92%	121	111	53	36	91	92
121	青葉	鴨志田緑	77%	69	53	19	6	34	42
157	栄	本郷台	96%	51	49	27	22	41	41
160	泉	上飯田	90%	69	62	41	29	48	56
合計			91%	594	540	293	195	435	466

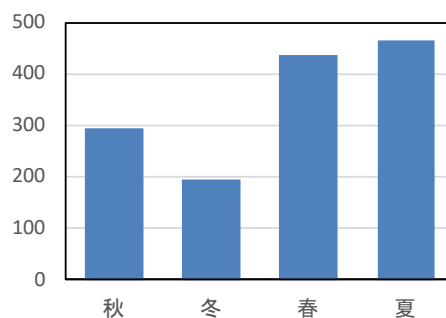


図 4-1-2 季節別確認者数の違い その2(スズメ)

(3) 確認率の高かった生き物について

確認率の高低は、0%から100%までを10段階（10%刻み）に区切り、色を変えて表現している。しかし、スズメについては、全体の確認率が高く、市内での明瞭な差は見えにくかった。「市内全域において確認率に大きな差はない」と判断するのが妥当とも考えられるが、参考までに70%から100%までを10段階（3%刻み）に細分し、地域間の確認率の高低差をより明瞭に表現した（図5-1-1）。また、同様に表現した2017年の結果も併せて示す。

スズメの確認率（確認率細分）は市内東側の臨海都市部で高く、2017年に比べ、東西の差が広がったようにも見える。スズメの頁（p.6）で述べたとおり、都市部ではスズメの増殖率が低いという報告がある一方、東京都では郊外より都心部の方がスズメの生息密度が高いことが報告されている。横浜においても東京都と同様に臨海都市部（東側）で生息密度が高く、増加傾向にあるのかもしれない。また、西側では、逆に生息密度の低下が起きているのかもしれない。横浜市が2020年度に実施した陸域生物調査^{*17}では、大岡川流域の3地域において鳥などの生物調査を行っている。大岡川源流域にあたる氷取沢市民の森（磯子区）と中流域にあたる久良岐公園（磯子区・港南区）、下流域の臨海都市部にあたる横浜公園・山下公園（中区）で鳥類のラインセンサス調査を行ったところ、初夏と冬季を合わせたスズメの確認個体数の割合が高かったのは横浜公園・山下公園で、確認された鳥類のうち、22%を占めた（図5-1-2）。今後の経過を観察する必要があるが、少なくとも横浜においては、スズメは都市部で（も）多く見られる鳥の一つで、都市の環境に適応した「都市鳥」として、たくましく生きていると言えそうである。

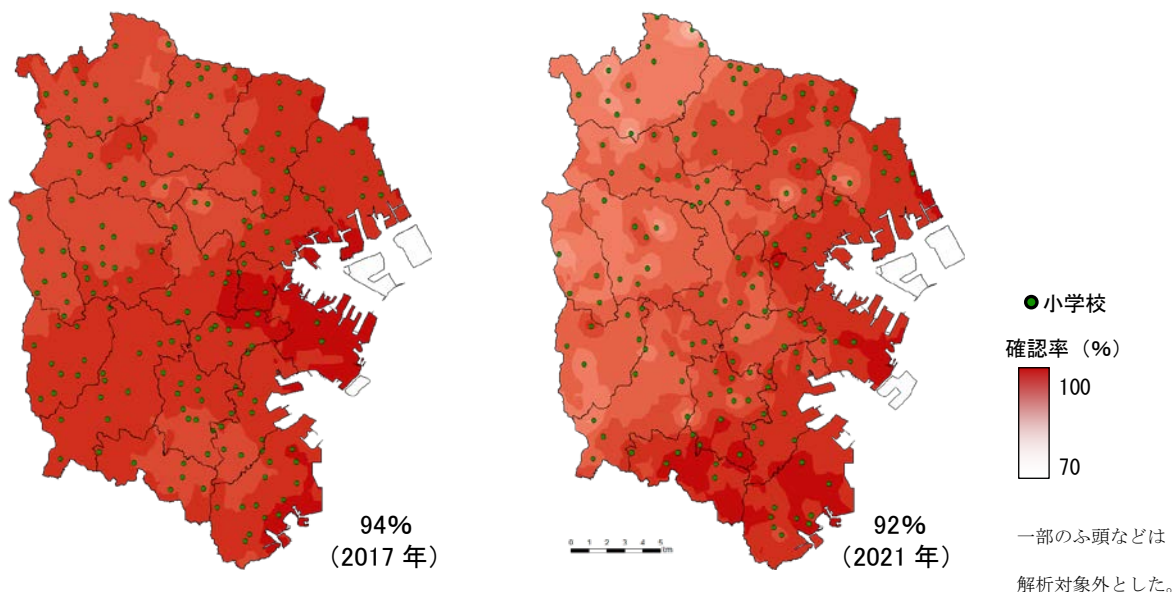


図5-1-1 スズメ調査結果（確認率細分）

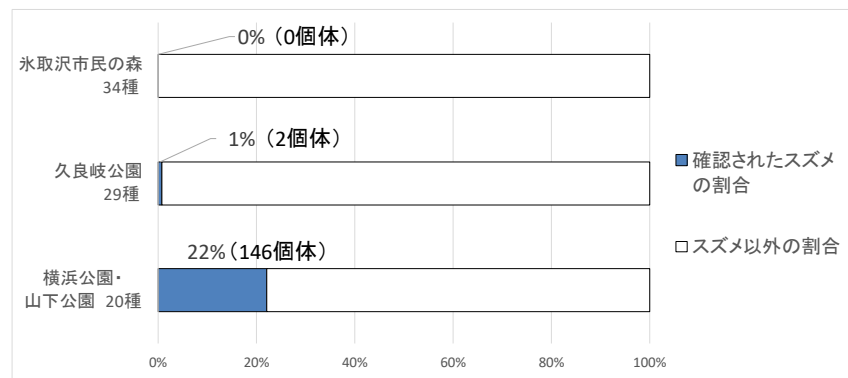


図5-1-2 市内3地域で実施した鳥類調査でのスズメの個体数割合（2020年度調査）

*17 横浜市環境科学研究所（2021）令和2年度陸域生物多様性に関する調査業務委託報告. 155pp.+資料

5 おわりに

本報告において、図示した学校ごとの「確認率」は、単にその生き物の生息密度を表すものではなく、観察場所へのアクセスのしやすさ、課外授業や環境教育への取組状況などによる生き物への関心度などによって変化するものである。里山的な環境の有無を調べるのであれば、今回のようにツバメやカブトムシの確認率を見るより、植生図や土地利用図を調べる方が確実かもしれない。しかし、その結果と、生き物やそれを観察する児童の目を通した調査結果との間に生ずる差異を考察することが重要と思われる。

一方で、本調査は、市内広域における生物分布情報を得るのに適した手法の1つとなりうる。専門家（専門業者）による分布調査は、調査時間や範囲に限られ、市内広域を網羅するには多大な労力、時間を要する。誤同定や勘違いなど不特定多数に対するアンケート調査の特性を踏まえながら、本調査を継続し、より多くのデータを蓄積すること、普及啓発によって同定精度を向上させていくこと、長期的な視点で解析・考察していくことなどが重要である。

1984～1991年の3回のアンケート（聞き取り）による分布調査は、市内の小・中・高等学校の先生方による「横浜生物調査研究会」のメンバーが中心となって調査方法の検討、結果の取りまとめ、解析を実施してきた。調査開始から30年以上が経過し、緑被率は40.3%（1982年度）から36.0%（1987年度）、33.4%（1992年度）、29.8%（2009年度）、28.8%（2014年度）、27.8%（2019年度）へ減少するなど、市内の自然環境は大きく変化しており、それにともない児童・生徒が自然環境にかかわる度合いや状況も大きく変化していると考えられる。また、生き物の生息状況自体にも変化が生じている。カブトムシ（2013・15・17・19・21年調査）は、1984年の調査同様、市内広域で確認されたが、コウモリ（2013・17・21年）は1991年の調査より確認地域が広まっている可能性がある。ツバメやスズメは分布調査当時、ごくありふれた生き物だったかもしれないが、現在は全国的に減少していると言われている。逆に近年、増加傾向にあるカワセミ（2014・18年）やハグロトンボ（2016年）、外来種であるリス（2013・16・19年）やアライグマ（2014・18年）、さらには植栽木の移動や温暖化の影響などが指摘されるクマゼミ（2014年）などは、当時は目にする機会が少なく、調査の対象とはなり得なかった。

こども「いきいき」生き物調査と題し、2013年に再開した調査では、調査対象とする生き物に、市内であればどこでも確認可能な種を含めるなどの配慮を行ったが、年によっては見つけにくい生き物が多く、9種類のうち1種類も〇がつけられなかった児童の割合は0.6～3.9%で推移してきた。今年度は、1.5%であったが、同じ生き物を調査対象とした2017年の0.7%の約2倍となり、ここでもコロナ禍による行動自粛が影響した可能性がある。今後、調査を継続するにあたり、行動自粛や行動変容の影響はしばらく継続するかもしれない。

また、今年度を含め、これまでにいくつかの生き物、いくつかの学校について、季節別確認者数を集計したが、現在の調査方法（アンケート調査実施時期や設問方法など）では、季節別の比較は難しい可能性が示唆されている。短期的な視点で季節別の比較を行うには、調査方法の再検討が必要かもしれない。算出された数値をそのまま利用するのではなく、そのような結果となった背景を踏まえ、他のデータとの突き合わせを行いながら、長期的な視点で解析することにより、見えてくる傾向もあると考えられる。

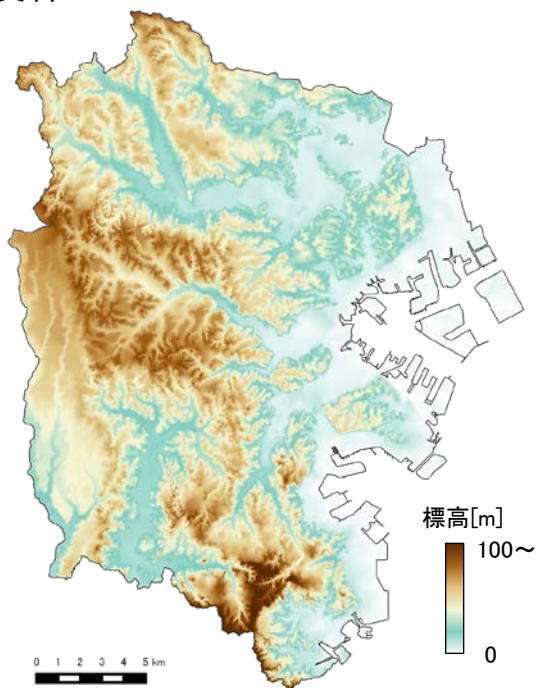
最後に、調査実施にあたっては、調査方法や対象種の選定について、環境教育や生き物観察に造詣の深い先生方や指導主事の方、十数名にご意見をいただいた。そのなかには、過年度に横浜生物調査研究会のメンバーとして活躍された先生方も含まれており、大変有意義なご意見をいただいた。本調査にご協力いただいた各学校の先生方、児童のみなさん、ご意見などいただいた方々に深く感謝するとともに、本取組や調査結果を積極的に活用し、生物多様性の主流化を推進していただけるようお願いする次第である。

参考文献

- 1) 鳥類繁殖分布調査会 (2021) 全国鳥類繁殖分布調査報告日本の鳥の今を描こう 2016-2021 年. 175pp.
<https://bird-atlas.jp/news/bbs2016-21.pdf>
- 2) 小学生によるふるさとのツバメ総調査データ集
<http://www.pref.ishikawa.jp/seikatu/kouryu/02hurusatoPDF/tsubame/tubamede-tashu/tsubamenodatasyu.html>
- 3) 三上修 (2009) 日本におけるスズメの個体数減少の実態. 日本鳥学会誌, 58 (2), 161-170.
- 4) 三上修 (2009) スズメはなぜ減少しているのか? 都市部における幼鳥個体数の少なさからの考察. Bird Reseach, 5, A1-A8.
- 4) 植田睦之 (2021) 都市鳥でもやはり郊外の方が好適? 東京都鳥類繁殖分布調査に基づく鳥の密度分布. パードリサーチニュース 2021 年 3 月, 3【参加型調査】.
<https://db3.bird-research.jp/news/202103-no3/>
- 5) 桐谷圭治 (2012) 里地里山の生物指標としてのカブトムシの基準個体群密度の設定と個体群動態. 昆虫 (ニューシリーズ), 15 (4), 232-242.
- 6) (株) カーター・アート環境計画 (1999) 横浜市陸域の生物相・生態系調査報告書. 423pp.
- 7) 七里浩志ら (2016) グランモール公園における鳥類・昆虫類調査結果について. 横浜市環境科学研究所報, 40, 18-22.
- 8) 吉田宗弘 (2004) チョウ類群集による都市環境評価のこころみ. 環動昆, 15 (3), 179-187.
- 9) 環境省 (2015) クサガメを掲載しないことについて. 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト補足資料, 29.
- 10) 横浜市環境科学研究所 (2021) 令和 2 年度陸域生物多様性に関する調査業務委託報告. 155pp.+資料
- 11) 横浜市公害対策局 (1986) 横浜の川と海の生物 (第 4 報). 公害資料, 126, 352pp.
- 12) 横浜市公害対策局 (1989) 横浜の川と海の生物 (第 5 報). 公害資料, 140, 392pp.
- 13) 横浜市環境保全局 (1992) 横浜の川と海の生物 (第 6 報). 環境保全資料, 161, 458pp.
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/science/shiryo/pub.html>
- 14) 横浜市環境科学研究所 (2013) こども「いきいき」生き物調査 2013 結果報告書. 14pp+資料.
- 15) 横浜市環境科学研究所 (2014) こども「いきいき」生き物調査 2014 結果報告書. 22pp+資料.
- 16) 横浜市環境科学研究所 (2015) こども「いきいき」生き物調査 2015 結果報告書. 21pp+資料.
- 17) 横浜市環境科学研究所 (2016) こども「いきいき」生き物調査 2016 結果報告書. 19pp+資料.
- 18) 横浜市環境科学研究所 (2017) こども「いきいき」生き物調査 2017 結果報告書. 17pp+資料.
- 19) 横浜市環境科学研究所 (2018) こども「いきいき」生き物調査 2018 結果報告書. 18pp+資料.
- 20) 横浜市環境科学研究所 (2019) こども「いきいき」生き物調査 2019 結果報告書. 17pp+資料.
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/science/naiyou/tayosei/ikiiki.html>
- 21) 横浜市環境科学研究所 (2002) 横浜型エコシティ研究報告「花鳥風月のまちづくり」. 環境研資料, 146, 122pp.
<http://archive.city.yokohama.lg.jp/kankyo/mamoru/kenkyu/shiryo/pub/pub0146/>

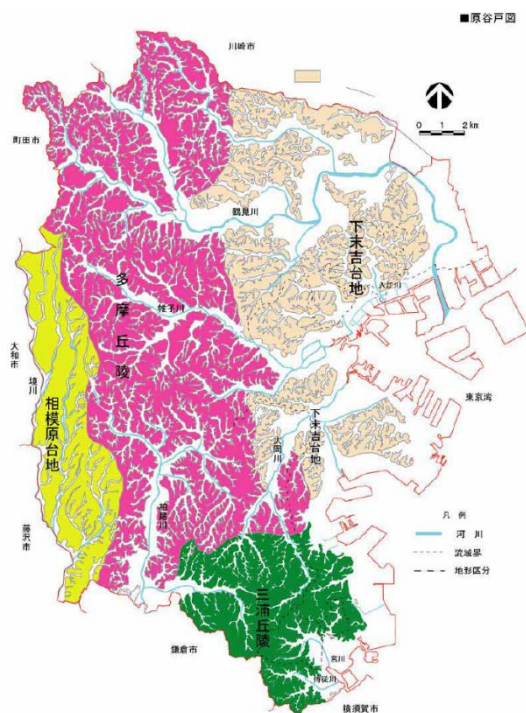
- 22) 横浜市（2019）令和元年度 緑被分布図. 横浜市第 11 次緑地環境診断調査（令和元年度）.
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/chosa/ryokuhi.html>
- 23) 横浜市環境創造局政策調整部政策課（2018）横浜みどりアップ計画[2019-2023]. 86pp.
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midori_up/midori2019.files/midori2019-keikaku.pdf
- 24) 横浜市建築局企画部都市計画課（2018）横浜市土地利用のあらまし 平成 26・27 年度 横浜市都市計画基礎調査（土地利用現況・建物現況）. 18pp.
<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kenchiku/toshikeikaku/yoko/sankou/kisocho.html>

参考資料



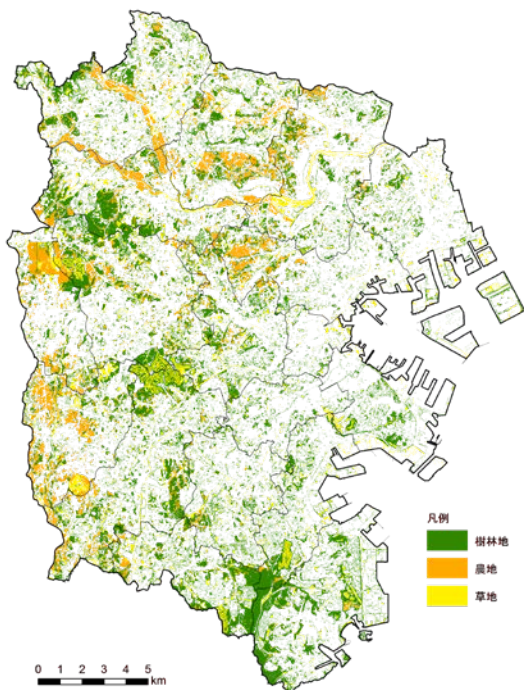
資料 1 横浜の標高

(国土地理院 基盤地図情報数値標高モデルから
環境科学研究所が作成)



資料 2 横浜の地形

(横浜型エコシティ研究報告書 花鳥風月のまちづくり
横浜市環境科学研究所,2002 年より)



資料 3 令和元年度 緑被分布図

(横浜市第 11 次緑地環境診断調査(令和元年度)より作成)

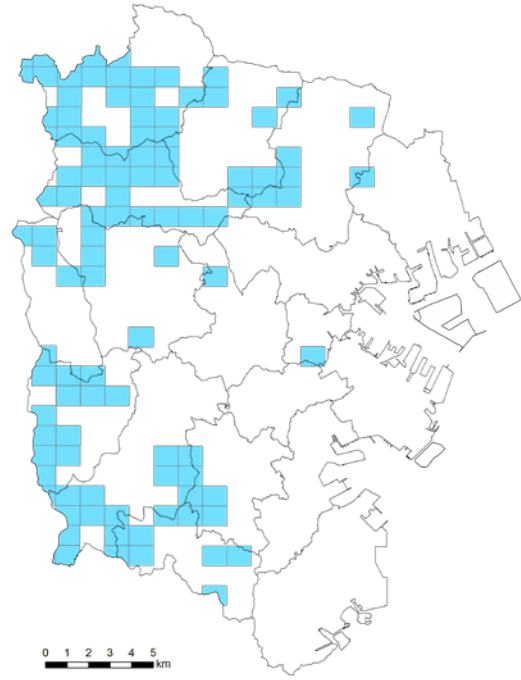


資料 4 緑の 10 大拠点

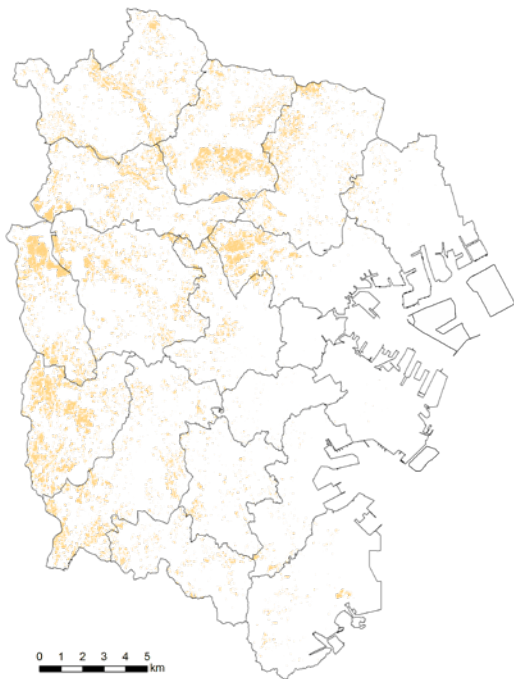
(横浜みどりアップ計画[2019-2023],
横浜市環境創造局,2018 年より)



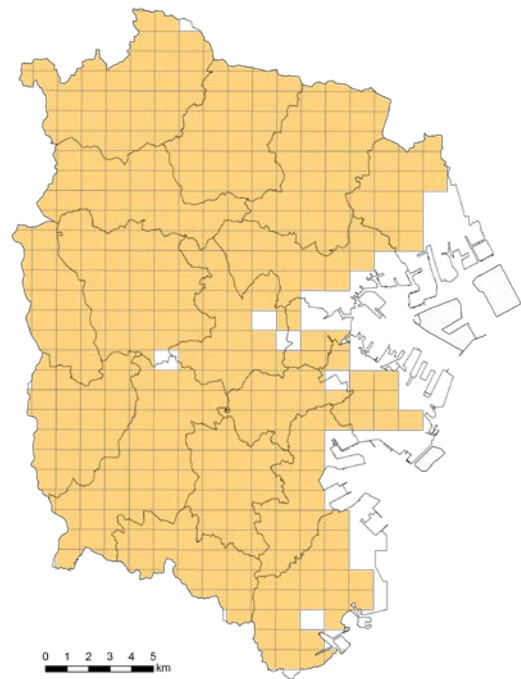
資料 5 横浜市内における水田の分布
(建築局都市計画基礎調査データ(H20)を基に作成)



資料 6 横浜市内における水田の分布(メッシュ単位)
水田のある地域を3次メッシュ(およそ1km四方)単位で示した。
(建築局都市計画基礎調査データ(H20)を基に作成)



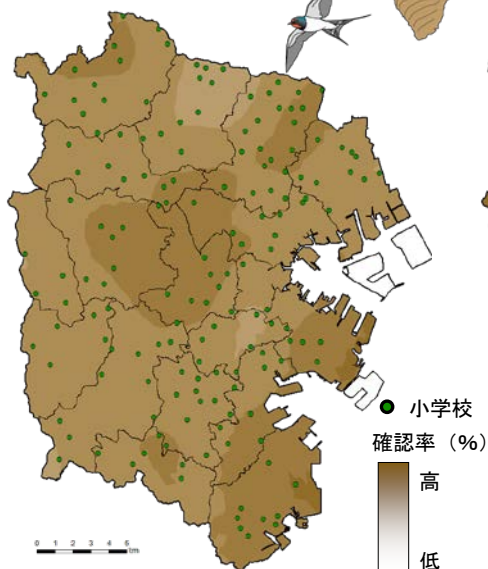
資料 7 横浜市内における畑の分布
(建築局都市計画基礎調査データ(H20)を基に作成)



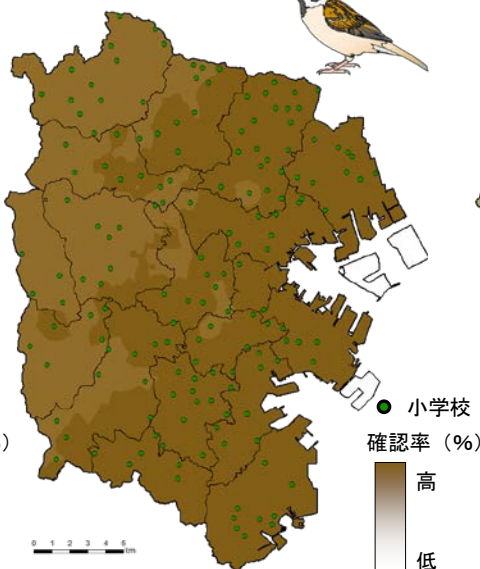
資料 8 横浜市内における畑の分布(メッシュ単位)
畑のある地域を3次メッシュ(およそ1km四方)単位で示した。
(建築局都市計画基礎調査データ(H20)を基に作成)

資料9 こども「いきいき」生き物調査 2021 調査結果(河川なし)

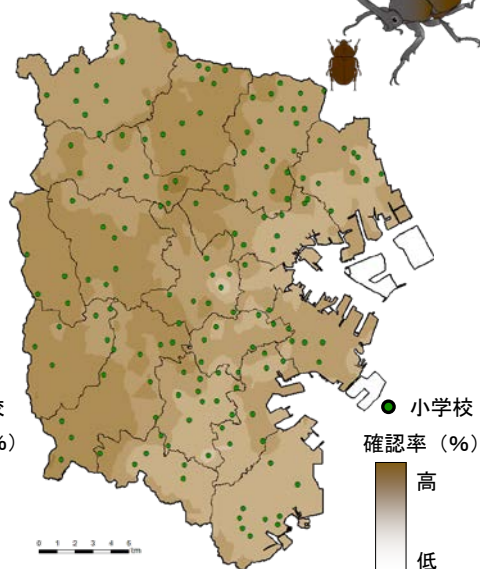
ツバメの巣 67%



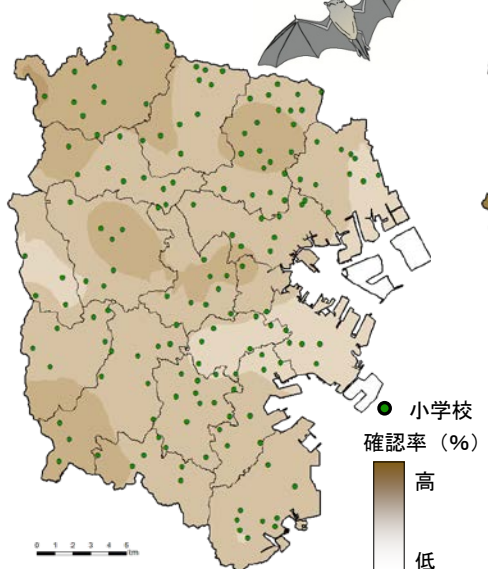
スズメ 92%



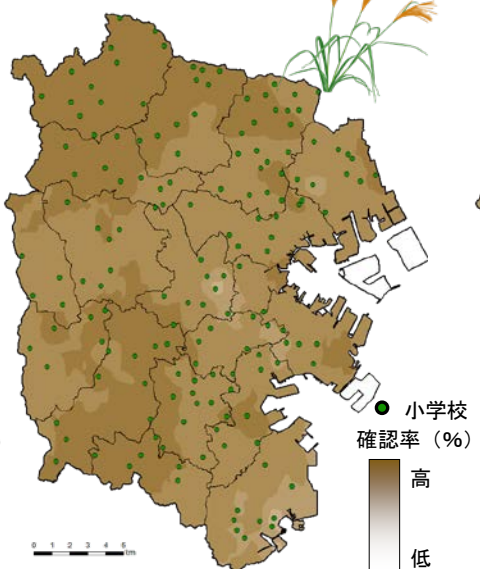
カブトムシ 56%



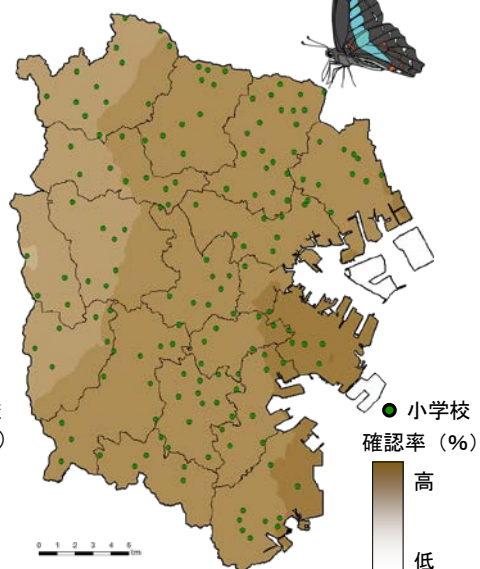
コウモリ 36%



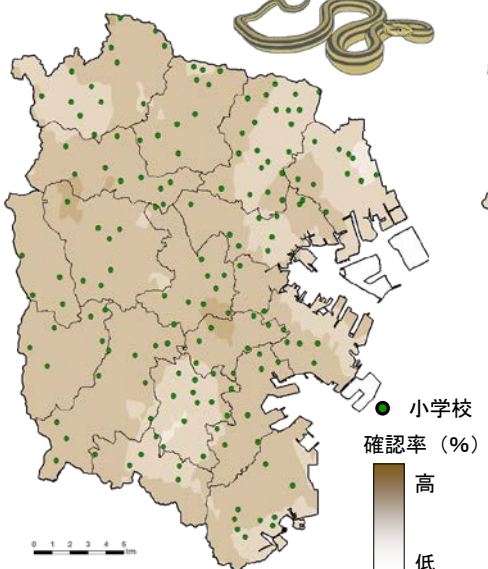
ススキ 69%



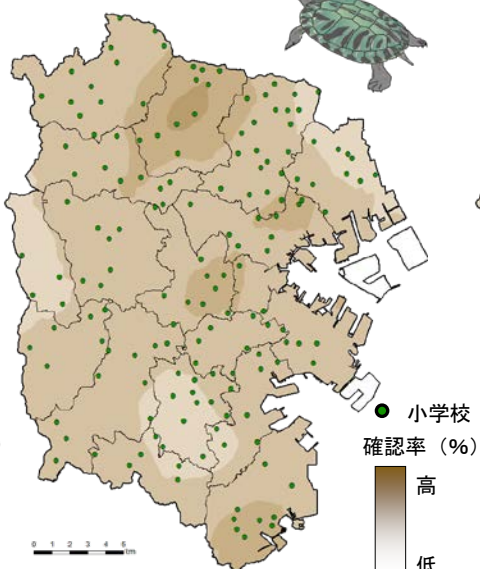
アオスジアゲハ 64%



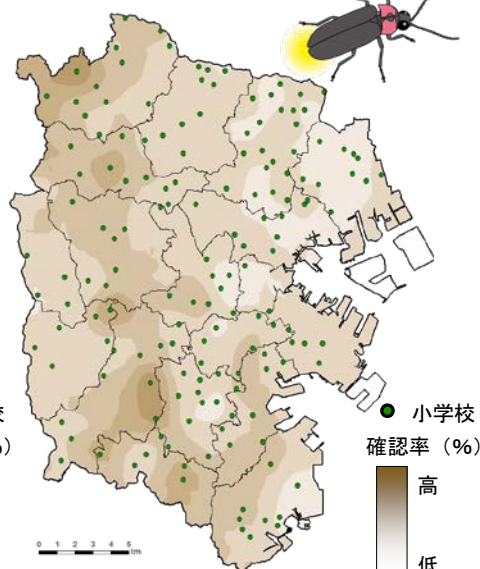
ヘビのなかま 31%



カメのなかま 35%



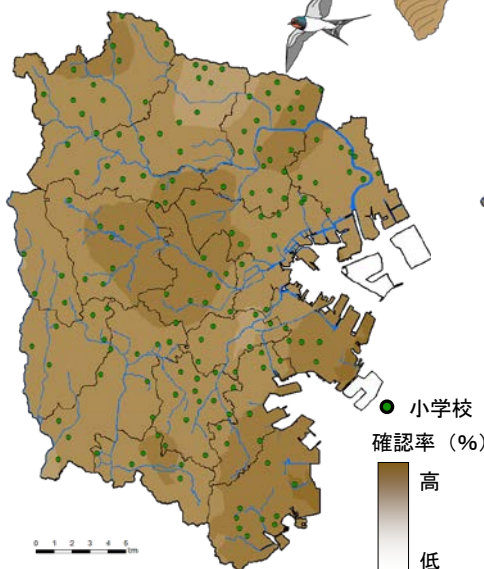
ホタルのなかま 27%



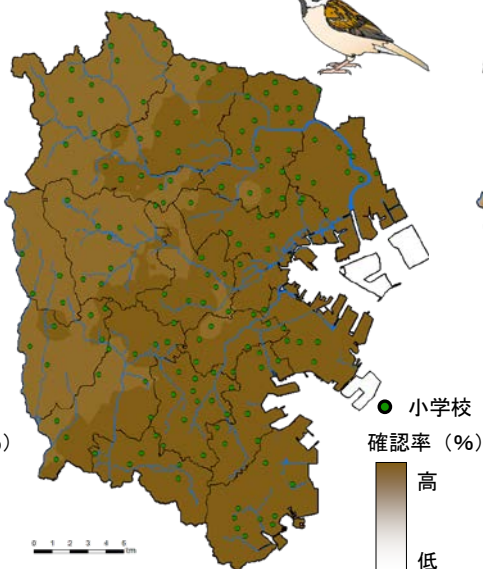
注)色の濃淡は、小学校ごとの確認率をもとに統計的に計算、作図したものです。一部のふ頭などは解析対象外としました。

資料 10 子ども「いきいき」生き物調査 2021 調査結果(河川あり)

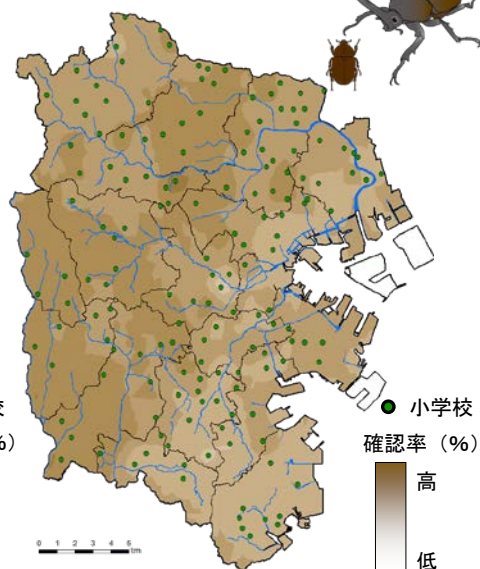
ツバメの巣 67%



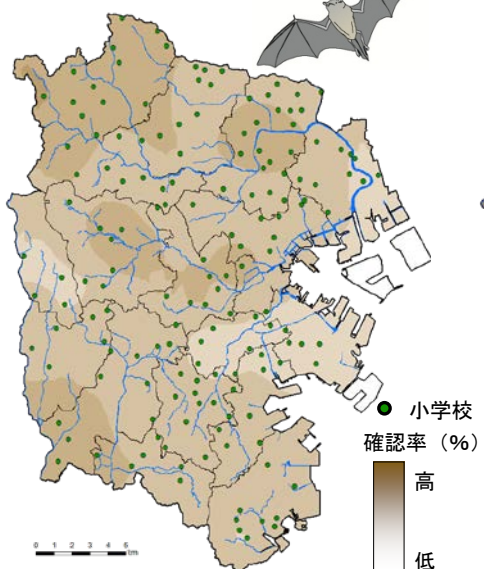
スズメ 92%



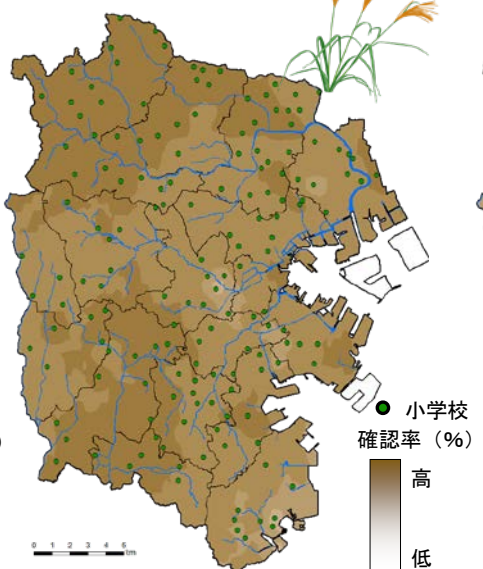
カブトムシ 56%



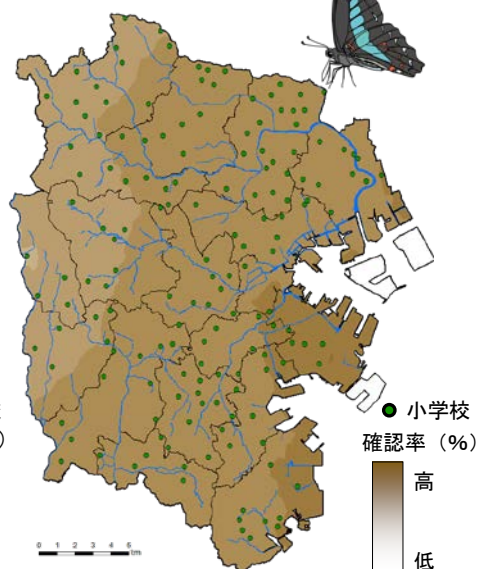
コウモリ 36%



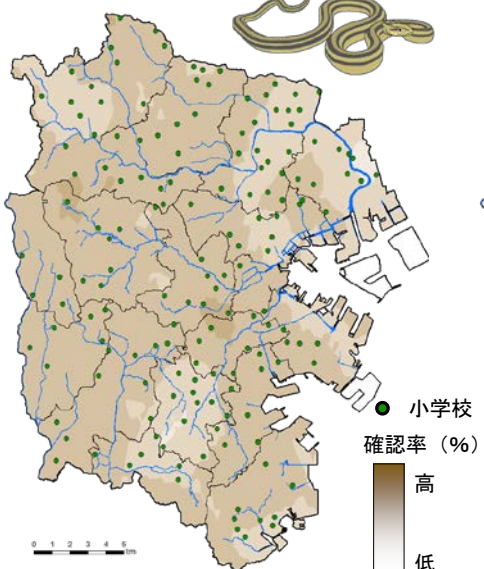
ススキ 69%



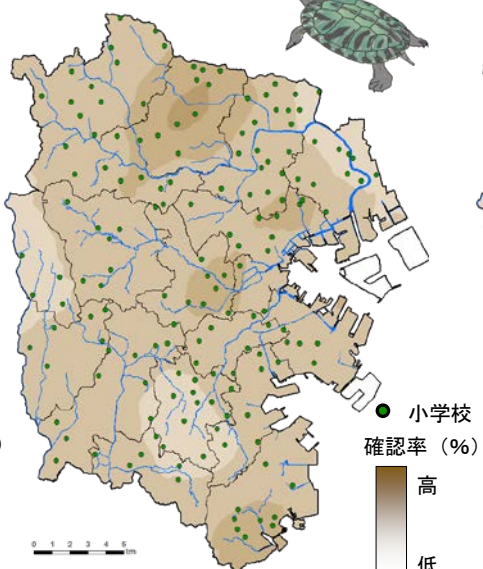
アオスジアゲハ 64%



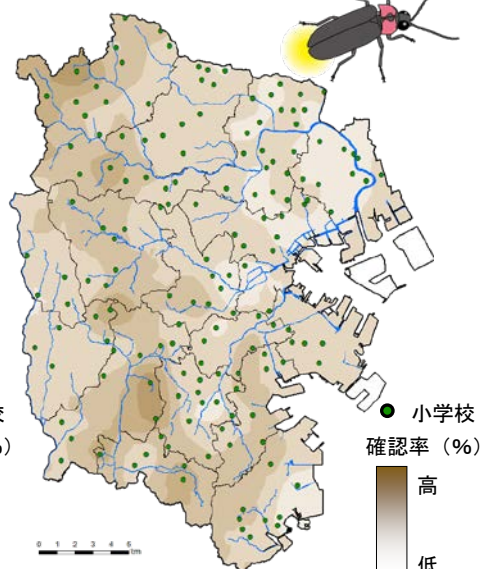
ヘビのなかま 31%



カメのなかま 35%



ホタルのなかま 27%



注)色の濃淡は、小学校ごとの確認率をもとに統計的に計算、作図したものです。一部のふ頭などは解析対象外としました。

教えて！ あなたが見つけた生き物たち 2021



学校名: _____ 小学校 _____ 年 組 _____

この1年間(去年の9月1日～今年の8月31日)に、家や学校の近くで
どんな生き物を発見しましたか？ 見つけたもの全部に○をつけてみよう！

ツバメの巣

今年使われた巣
を見つけた時だけ
教えてね。

秋 冬 春 夏

スズメ

昔とくらべると
少なくなったと言われ
るけどどうかな？

秋 冬 春 夏

カブトムシ

メスには
角はありません。

秋 冬 春 夏

コウモリ

夕方、大きな池や川
の近くで飛んでいる
かも。

秋 冬 春 夏

ススキ

カヤともよばれるよ。
お月見(十五夜)の時
にかざったりするね。

秋 冬 春 夏

アオスジアゲハ

すばやく飛び回るけど
はねのもようが
目立つよ。

秋 冬 春 夏

ヘビのなかま

横浜にも毒ヘビが
いるから、気をつ
けてね。

秋 冬 春 夏

カメのなかま

家や学校で飼われて
いるものには○を
つけないよ。

秋 冬 春 夏

ホタルのなかま

ゲンジボタルや
ヘイケボタルは夜、
飛びながら光るよ。

秋 冬 春 夏

みんなはいくつ見つけたかな？

家や学校がある場所によって、見つかる生き物の種類は、ちがうはず！
まわりのお友だちは、いくつ見つけたかな？
横浜市内ならどこにでもいる生き物ものっているよ！

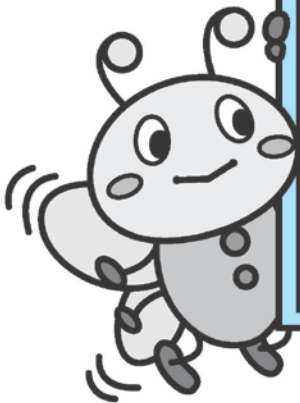
横浜市環境行動キャプター
「エコぼん」

こども「いきいき」生き物調査 2021

教えて！ あなたが見つけた生き物たち

横浜市内には、生き物がたくさん見られる場所と、あまり見られない場所があります。また、同じ場所でも今と昔とでは住んでいる生き物が変わってしまっていることもあります。

そこで、どのような生き物がどのような場所にいるのが、みなさん1人ひとりが「生き物調査員」になって調査して、その結果を教えてください。



◆調査の方法

おもて面の生き物について、みなさんがこの1年間（2020年9月1日～2021年8月31日）に、家や学校の近く（およそ学区内）ですがたを見たり、鳴き声を聞いたりしたものに○をつけて先生に提出してください。

秋：9～11月 冬：12～2月
春：3～5月 夏：6～8月

見つけたら○をつけてね。
飼われているものはのぞくよ。

ツバメの巣

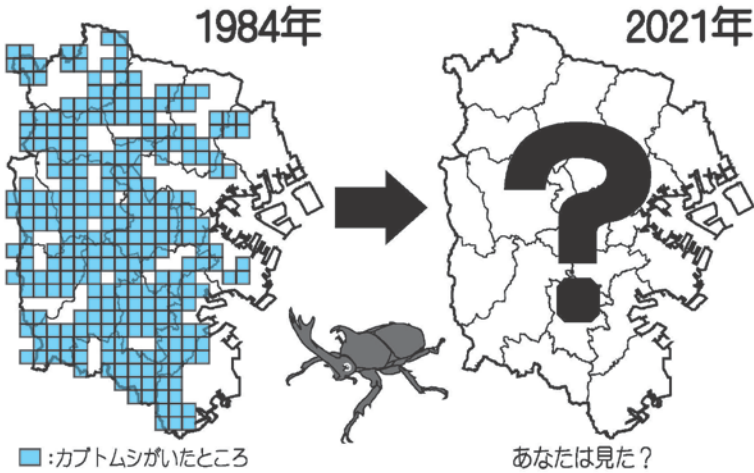
今年使われた巣を見つけた時だけ教えてね。

秋 冬 春 夏

◆調べるのは、あなた！

右の地図は、37年前にカブトムシがいたところです。調べたのはその時の小・中学生です。横浜市内の多くのところで、カブトムシが見つかりました。今はどうでしょうか？

調べるのは、あなたです！



◆注意してほしいこと

- ※生き物を探るときは勝手に他人の庭や危ないところに入らないようにしましょう。
- ※生き物探しにむちゅうになって、けがをしないように気をつけましょう。

【担当の先生へ】 調査票を夏休み明けに回収し、集計せずに、学校メール便にて環境創造局 環境科学研究所へお送りください。昨年度までの調査結果は、環境科学研究所WEBページでもご覧いただけます。

【問合せ先・発行元】 横浜市環境科学研究所 Tel: 045 (453) 2550 E-mail: ks-kanken@city.yokohama.jp



資料 12 学校・クラス別生き物確認数 (その1)

区名	小学校名	学年	組	回答数	ツバメの巣	スズメ	カブトムシ	コウモリ	ススキ	アオスジ アゲハ	ヘビの なかま	カメの なかま	ホタルの なかま	
鶴見	下末吉	5	1	29	10	27	12	7	20	16	3	5	1	
	岸谷	5	1	26	22	23	10	6	9	17	8	7	3	
	岸谷	5	2	24	18	24	10	7	15	14	7	5	3	
	岸谷	5	5	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	
	駒岡	5	1	29	17	25	21	17	20	22	8	14	7	
	駒岡	5	2	29	22	27	15	15	20	19	9	6	4	
	駒岡	5	3	27	12	25	14	9	18	16	8	5	1	
	駒岡	5	4	22	17	21	14	11	15	15	9	3	5	
	上寺尾	5	1	19	11	16	7	6	8	8	9	8	4	
	鶴見	5	1	26	11	24	15	5	19	20	3	8	4	
	鶴見	5	2	24	9	22	11	7	15	17	1	11	4	
	鶴見	5	3	31	9	30	13	5	21	25	0	4	4	
	馬場	5	1	35	24	32	21	16	27	24	14	12	4	
	馬場	5	2	31	16	27	16	13	20	20	9	7	7	
	馬場	5	3	35	19	29	18	17	20	22	9	6	5	
	平安	5	1	32	17	32	15	12	23	19	8	14	6	
	平安	5	2	32	16	30	13	8	23	23	4	6	11	
	平安	5	3	32	18	32	16	14	27	25	8	10	14	
	平安	5	4	30	13	30	12	9	19	18	5	2	4	
	豊岡	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	豊岡	5	2	9	6	9	5	4	5	7	1	0	0	
	豊岡	5	3	9	7	9	5	1	8	5	2	3	2	
	末吉	5	1	30	24	27	19	5	14	17	4	3	3	
	末吉	5	2	27	26	25	18	11	20	19	8	13	11	
	末吉	5	3	32	32	31	23	15	25	22	19	16	11	
	末吉	5	4	29	28	29	11	7	17	19	10	7	6	
	市場小けやき分校	5	1	27	23	25	12	10	21	22	3	2	6	
	市場小けやき分校	5	2	28	22	28	16	7	23	23	3	7	5	
	市場小けやき分校	5	3	35	24	34	17	7	20	27	2	7	6	
	市場小けやき分校	5	4	33	31	33	12	9	20	29	5	6	7	
	市場小けやき分校	5	5	31	25	30	15	9	22	26	7	8	10	
	市場小けやき分校	5	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	市場小けやき分校	5	7	36	30	33	17	6	27	30	7	5	6	
市場小けやき分校	5	9	4	3	4	0	2	2	3	0	0	0		
上末吉	5	2	6	5	5	5	5	6	4	3	5	3		
上末吉	5	3	2	0	2	1	1	1	0	1	0	0		
神奈川	三ツ沢	5	1	26	26	26	12	10	19	16	10	10	14	
	三ツ沢	5	2	32	30	31	20	12	19	18	11	16	17	
	三ツ沢	5	3	25	25	25	15	14	19	19	12	12	10	
	三ツ沢	5	4	31	26	29	12	6	22	20	7	10	13	
	神橋	5	1	31	19	28	20	13	18	25	14	17	4	
	神橋	5	2	25	13	25	8	8	15	21	4	14	3	
	神橋	5	3	25	13	24	14	9	15	17	9	14	7	
	西寺尾第二	5	1	34	20	32	22	15	23	22	11	22	8	
	西寺尾第二	5	2	34	25	31	17	17	25	18	8	16	6	
	西寺尾第二	5	3	35	23	34	19	15	28	28	16	16	12	
	青木	5	1	2	1	2	1	2	2	1	1	0	0	
	青木	5	2	29	22	28	7	4	21	23	4	7	6	
	青木	5	3	29	21	28	17	7	20	18	7	6	10	
	中丸	5	1	6	5	5	3	4	2	5	2	2	1	
	中丸	5	2	26	15	24	17	9	19	15	8	8	6	
	二谷	5	1	24	11	24	12	9	17	21	2	7	5	
	二谷	5	2	19	15	18	4	6	14	11	4	6	1	
	子安	5	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	
	子安	5	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	
	子安	5	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	
	子安	5	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	子安	5	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	菅田の丘	5	1	26	19	23	18	4	17	13	7	4	1	
	菅田の丘	5	2	6	5	5	4	3	3	3	1	1	0	
	菅田の丘	5	3	24	20	22	16	8	19	16	8	6	7	
	白幡	5	1	27	19	23	10	2	12	6	5	12	3	
	白幡	5	2	28	15	27	9	6	15	17	6	6	1	
	白幡	5	3	30	18	26	11	7	19	16	10	13	5	
	白幡	5	4	30	21	28	15	5	18	19	8	15	9	
	西寺尾	5	1	26	22	26	11	12	21	11	11	21	4	
	西寺尾	5	2	27	24	26	16	5	20	10	10	17	9	
	西	宮谷	5	2	8	5	8	5	7	6	6	5	3	0
		宮谷	5	3	5	4	5	3	4	4	4	1	4	1
東		5	1	29	20	27	16	9	20	25	11	18	6	
中	山元	5	1	18	16	17	6	5	11	15	7	9	3	
	山元	5	2	16	14	14	9	5	7	13	5	6	2	
	大鳥	5	1	29	26	29	16	4	22	25	12	6	12	
	大鳥	5	2	20	16	19	14	3	14	17	5	7	6	
大鳥	5	3	17	15	17	10	5	11	13	6	7	7		

資料 12 学校・クラス別生き物確認数 (その2)

区名	小学校名	学年	組	回答数	ツバメの巣	スズメ	カブトムシ	コウモリ	ススキ	アオスジアゲハ	ヘビのなかま	カメのなかま	ホタルのなかま
中	間門	5	1	25	18	24	14	3	16	21	5	9	5
	間門	5	2	31	23	30	16	9	21	26	9	15	9
	間門	5	3	28	24	26	21	7	21	25	7	14	7
	立野	5	1	28	23	28	15	4	18	25	11	12	5
	立野	5	2	22	16	20	20	6	16	20	10	12	5
	立野	5	3	25	25	25	16	7	15	24	10	8	7
南	永田	5	1	3	2	2	2	0	1	1	0	0	0
	永田	5	2	27	16	25	9	7	16	11	12	4	2
	永田	5	3	23	18	19	11	4	14	14	5	6	4
	蒔田	5	1	18	12	16	14	4	12	14	12	6	9
	蒔田	5	2	18	12	18	13	9	14	16	8	8	7
	蒔田	5	3	17	10	14	8	3	7	12	7	8	5
	石川	5	1	23	17	23	18	7	16	22	7	4	4
	石川	5	2	23	12	21	13	8	12	18	7	8	5
	太田	5	2	21	4	20	9	6	16	13	13	6	5
	藤の木	5	1	32	18	32	15	6	24	14	19	17	10
	藤の木	5	2	31	18	28	16	9	26	23	8	13	15
	藤の木	5	3	31	12	31	16	8	20	20	10	14	11
	南吉田	5	1	21	10	20	13	5	10	16	3	9	6
	南吉田	5	2	7	2	7	1	1	3	4	0	2	3
	南吉田	5	3	20	11	19	8	0	11	11	2	4	5
	別所	5	1	33	17	32	21	8	24	27	11	8	11
別所	5	2	36	25	36	23	8	27	22	8	3	10	
六つ川	5	1	30	25	27	15	4	21	18	14	13	8	
港南	下永谷	5	1	29	19	28	16	7	22	26	4	8	9
	下永谷	5	2	32	15	30	20	6	22	21	7	8	11
	下永谷	5	3	31	21	30	19	15	24	17	6	7	11
	下永谷	5	4	28	19	27	15	9	21	17	7	7	10
	丸山台	5	1	27	20	24	9	11	23	15	2	5	8
	丸山台	5	2	24	15	23	10	9	19	12	5	8	5
	丸山台	5	4	3	2	3	2	0	1	0	0	1	1
	吉原	5	1	34	18	31	10	3	10	16	4	5	5
	吉原	5	2	33	11	25	14	7	12	13	6	7	3
	吉原	5	3	33	20	30	13	15	23	16	15	13	3
	荻が谷南	5	1	15	10	15	12	5	9	9	4	6	4
	荻が谷南	5	2	20	12	18	10	9	12	10	4	4	1
	港南台第一	5	2	5	3	5	2	2	3	3	1	0	1
	港南台第一	5	3	19	8	19	6	4	12	15	4	5	6
	港南台第二	5	1	2	2	2	1	1	2	2	1	2	0
	桜岡	5	1	29	16	25	4	4	8	11	5	9	1
	桜岡	5	2	28	18	25	7	6	16	13	5	16	4
	桜岡	5	3	30	21	26	15	8	20	16	11	16	6
	上大岡	5	1	30	15	29	14	11	23	23	9	11	10
	上大岡	5	2	34	20	32	24	16	25	23	16	17	13
	相武山	5	1	25	12	24	15	10	16	18	5	7	14
	相武山	5	2	24	17	21	17	13	16	15	4	3	8
	相武山	5	3	24	17	23	14	11	18	18	6	9	8
	南台	5	1	37	22	36	7	15	27	22	10	10	4
	南台	5	2	3	2	2	0	0	1	3	2	1	0
	南台	5	3	35	16	31	16	10	18	23	9	14	4
	日下	5	1	8	7	8	2	5	6	6	3	4	2
	日下	5	2	19	15	19	9	10	15	13	4	8	4
	日下	5	3	16	15	14	8	7	14	9	6	6	5
	日野	5	1	8	5	6	5	1	4	3	2	1	2
日野南	5	1	6	5	6	4	3	6	6	0	0	3	
日野南	5	2	11	8	11	5	5	9	4	3	3	4	
野庭すずかけ	5	1	26	19	26	11	10	17	18	2	2	7	
野庭すずかけ	5	2	26	17	26	15	7	19	17	4	4	4	
保土ヶ谷	岩崎	5	1	24	23	23	20	13	20	19	14	19	6
	岩崎	5	2	27	25	25	20	16	20	20	13	16	13
	初音が丘	5	1	31	24	28	18	14	25	21	15	14	15
	初音が丘	5	2	28	25	27	17	16	23	22	21	14	13
	初音が丘	5	3	32	20	26	14	12	16	15	11	12	15
	常盤台	5	1	32	21	30	19	8	22	22	15	12	8
	常盤台	5	2	34	25	32	23	11	26	26	15	10	8
	常盤台	5	3	30	22	29	20	13	22	22	16	11	7
	新井	5	1	28	9	25	13	6	18	16	4	4	3
	新井	5	2	21	12	19	13	5	13	13	4	7	4
	瀬戸ヶ谷	5	1	3	3	3	3	0	3	3	1	1	2
	瀬戸ヶ谷	5	2	4	4	4	4	2	4	4	2	1	0
	星川	5	1	27	20	25	12	13	14	19	9	17	6
	星川	5	2	26	15	26	12	14	19	20	10	10	6
	藤塚	5	1	17	16	15	7	6	9	11	2	1	4
	藤塚	5	2	19	19	19	13	8	13	12	5	4	7

資料 12 学校・クラス別生き物確認数 (その 3)

区名	小学校名	学年	組	回答数	ツバメの巣	スズメ	カブトムシ	コウモリ	ススキ	アオスジアゲハ	ヘビのなかま	カメのなかま	ホタルのなかま
保土ケ谷	富士見台	5	1	37	8	30	14	10	15	20	15	16	3
	富士見台	5	2	34	18	32	23	14	22	26	17	10	11
	富士見台	5	3	32	18	29	21	13	18	21	10	9	8
	保土ケ谷	5	1	38	31	33	8	8	12	15	10	14	4
	峯	5	1	21	15	20	8	7	6	11	7	10	0
	峯	5	2	20	14	16	12	8	16	11	3	5	3
峯	5	3	22	15	21	8	6	8	11	4	9	2	
旭	さちが丘	5	1	32	23	28	15	10	23	18	7	11	9
	さちが丘	5	2	31	16	30	19	8	19	17	8	11	8
	さちが丘	5	3	35	23	32	20	14	29	23	10	15	11
	希望ヶ丘	5	1	28	14	20	14	4	10	10	8	5	3
	希望ヶ丘	5	2	27	16	24	15	5	14	15	6	4	5
	希望ヶ丘	5	3	22	9	15	14	5	9	9	11	5	3
	今宿南	5	1	22	19	21	19	12	16	16	14	14	8
	今宿南	5	2	23	22	22	19	17	16	13	9	13	11
	笹野台	5	2	3	2	3	3	2	3	1	1	1	1
	笹野台	5	3	2	1	2	2	1	2	1	1	1	1
	上川井	5	1	13	9	11	6	4	10	6	7	5	4
	都岡	5	1	23	22	22	18	15	16	12	13	13	15
	都岡	5	2	22	18	21	14	7	18	9	10	5	9
	都岡	5	6	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	二俣川	5	1	29	24	25	18	12	22	19	10	9	12
	二俣川	5	2	25	18	21	23	12	17	16	13	11	12
	二俣川	5	3	27	20	21	15	10	17	15	7	7	6
今宿	5	1	2	1	1	0	0	1	2	1	1	0	
今宿	5	2	5	5	5	3	4	5	3	0	2	2	
今宿	5	3	8	5	6	4	4	4	3	1	1	2	
磯子	磯子	5	1	33	21	30	12	10	18	19	8	9	11
	磯子	5	2	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1
	磯子	5	3	19	11	19	7	6	12	12	4	2	2
	滝頭	5	1	50	26	50	30	16	40	44	20	20	8
	滝頭	5	2	60	45	55	35	22	42	49	24	33	21
	滝頭	5	3	56	26	54	30	22	38	36	2	18	12
	梅林	5	1	33	24	32	18	13	23	20	16	11	11
	梅林	5	2	31	27	29	24	13	27	27	13	13	17
	梅林	5	3	32	26	30	17	10	15	18	8	9	6
	洋光台第一	5	1	24	19	24	8	9	12	12	5	4	4
	洋光台第一	5	2	26	20	23	12	14	16	18	7	6	6
	洋光台第一	5	3	24	19	24	15	10	20	16	7	5	10
	洋光台第二	5	1	72	36	66	24	20	50	46	20	6	20
	洋光台第二	5	2	64	40	62	22	30	38	30	22	16	20
	屏風浦	5	1	32	27	30	17	7	22	17	13	8	12
	屏風浦	5	2	35	27	32	17	18	24	19	18	12	8
	根岸	5	2	35	22	29	17	6	16	20	7	12	7
根岸	5	3	35	20	34	15	5	21	27	13	25	7	
金沢	釜利谷	5	1	2	0	2	1	0	1	0	1	0	0
	釜利谷	5	2	12	6	11	7	5	7	7	7	5	5
	釜利谷	5	3	16	9	15	7	4	8	12	7	5	6
	釜利谷南	5	1	8	7	8	3	3	5	3	4	6	2
	釜利谷南	5	2	8	6	8	5	3	6	7	3	4	4
	高舟台	5	1	33	24	32	14	8	17	21	8	13	12
	高舟台	5	2	36	27	32	14	6	17	19	7	7	4
	西富岡	5	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	西富岡	5	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0
	西富岡	5	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	八景	5	2	11	10	11	5	5	8	8	4	7	3
	富岡	5	1	4	3	4	2	1	4	3	2	1	1
	富岡	5	3	12	11	12	6	6	9	11	4	5	5
	文庫	5	1	33	22	32	10	5	10	15	6	11	5
	文庫	5	2	38	21	34	13	14	9	20	10	17	6
	並木第四	5	1	21	20	21	9	9	16	19	9	8	3
	並木第四	5	2	19	19	19	5	6	7	17	3	3	0
	六浦	5	1	25	17	22	11	8	17	17	5	8	9
	六浦	5	2	22	14	21	13	3	12	18	5	10	6
金沢	5	2	12	9	12	5	5	6	10	2	6	2	
港北	下田	5	1	31	25	30	19	8	22	20	9	2	8
	下田	5	2	29	21	26	19	6	19	19	7	3	4
	下田	5	3	28	14	25	13	8	17	22	6	1	7
	菊名	5	1	32	21	29	14	12	20	21	11	10	6
	菊名	5	2	38	25	36	28	15	31	31	12	16	16
	菊名	5	3	38	27	37	26	11	31	24	15	16	8
菊名	5	4	35	26	35	30	17	32	28	15	13	13	

資料 12 学校・クラス別生き物確認数 (その 4)

区名	小学校名	学年	組	回答数	ツバメの巣	スズメ	カブトムシ	コウモリ	ススキ	アオスジアゲハ	ヘビのなかま	カメのなかま	ホタルのなかま
港北	港北	5	1	29	16	29	17	14	23	23	13	11	5
	港北	5	2	30	23	28	24	7	22	24	15	19	10
	港北	5	3	32	23	29	24	13	24	24	19	18	5
	港北	5	4	29	15	28	22	8	16	21	9	12	7
	網島東	5	1	24	22	23	18	10	22	13	9	12	9
	網島東	5	2	26	25	24	14	17	23	17	4	8	4
	網島東	5	3	31	26	29	13	17	24	23	8	7	8
	師岡	5	1	28	22	26	20	11	16	15	9	7	6
	師岡	5	2	21	16	19	11	4	13	13	2	3	3
	師岡	5	3	30	23	27	11	7	18	18	7	8	3
	師岡	5	4	30	17	27	13	10	18	13	6	11	0
	師岡	5	5	26	22	24	19	10	18	16	9	14	11
	篠原	5	1	5	3	4	3	2	1	3	1	1	0
	篠原	5	3	8	6	8	6	0	8	5	2	2	3
	篠原西	5	1	32	14	27	12	6	22	14	12	12	5
	篠原西	5	2	32	15	29	13	7	21	12	11	14	4
	篠原西	5	3	32	13	22	13	9	17	15	5	8	2
	篠原西	5	5	4	3	4	0	2	3	1	0	2	0
	小机	5	1	33	30	32	25	9	20	15	12	17	8
	小机	5	2	30	24	26	22	8	23	20	13	16	13
	小机	5	3	29	24	27	17	11	19	18	13	10	8
	新羽	5	1	35	24	32	22	12	20	19	5	13	6
	新羽	5	2	35	26	34	21	17	24	21	11	11	11
	新吉田	5	2	15	11	14	6	9	12	11	4	4	3
	新吉田	5	3	34	21	34	15	20	27	19	2	7	6
	新吉田第二	5	1	36	20	30	23	14	27	19	9	25	11
	新吉田第二	5	2	35	14	32	19	12	18	19	12	17	8
	新田	5	1	22	10	21	15	14	16	15	10	9	3
	新田	5	2	27	15	26	19	9	20	17	12	7	2
	新田	5	3	30	14	29	23	17	20	19	16	14	7
	太尾	5	1	34	28	32	22	21	19	23	14	15	9
	太尾	5	2	31	23	29	14	12	22	21	10	8	7
	太尾	5	3	27	20	20	12	12	16	11	7	4	8
	大網	5	1	38	32	36	19	10	20	19	7	9	4
	大網	5	2	35	33	32	15	24	22	26	11	13	11
	大網	5	3	40	39	38	26	18	28	28	9	11	10
	大網	5	4	36	34	35	27	22	28	28	9	14	10
	大豆戸	5	1	19	14	19	10	8	14	13	3	7	3
	大豆戸	5	2	23	14	23	9	13	15	8	3	5	3
	大豆戸	5	3	23	17	23	14	15	19	19	5	10	4
	日吉台	5	1	32	26	32	18	7	20	24	9	6	7
	日吉台	5	2	32	27	30	20	4	21	21	10	5	8
	日吉台	5	3	32	24	26	19	9	17	18	10	9	9
	日吉南	5	1	28	24	27	18	12	20	18	7	18	8
	日吉南	5	2	30	25	26	14	11	22	17	7	15	10
	日吉南	5	3	31	18	29	16	15	19	18	6	12	4
	日吉南	5	4	22	17	22	16	7	19	16	4	8	8
	北網島	5	1	32	18	30	17	10	22	16	6	14	5
	北網島	5	2	26	15	24	16	15	16	16	6	11	7
	北網島	5	3	27	21	26	16	13	20	15	8	13	6
矢上	5	1	29	21	29	14	10	22	15	5	11	5	
矢上	5	2	25	16	25	16	9	20	17	8	9	5	
矢上	5	3	25	16	24	13	10	18	18	8	10	10	
高田東	5	1	21	12	21	14	8	16	14	10	10	3	
高田東	5	2	14	8	14	8	6	12	10	10	6	0	
箕輪	5	1	2	2	2	2	0	2	0	0	0	0	
箕輪	5	2	2	2	2	1	1	2	2	1	1	1	
箕輪	5	3	6	3	6	3	1	2	5	0	0	0	
緑	いぶき野	5	1	30	22	27	23	17	23	17	11	10	16
	いぶき野	5	2	29	16	27	21	16	26	18	13	6	13
	いぶき野	5	3	27	15	21	16	11	22	16	11	5	11
	いぶき野	5	4	31	25	31	24	20	28	17	7	13	13
	鴨居	5	1	15	13	12	12	7	9	9	8	5	6
	鴨居	5	2	31	26	29	25	17	23	20	11	7	9
	三保	5	1	31	22	30	16	10	22	21	17	6	14
	三保	5	2	31	21	30	21	13	26	16	18	9	14
	三保	5	3	33	24	27	20	11	23	19	16	13	23
	三保	5	4	26	17	24	15	9	19	13	10	6	15
	森の台	5	1	38	20	34	16	10	31	21	16	22	13
	森の台	5	2	37	23	36	21	13	31	23	12	20	12
	森の台	5	3	34	18	30	17	11	22	22	10	13	12
	森の台	5	4	35	18	32	23	11	29	19	9	17	14
	竹山	5	1	30	23	24	21	12	19	26	12	21	8
	霧が丘義務教育学校	5	1	27	17	27	21	12	21	21	13	12	13
霧が丘義務教育学校	5	2	26	14	22	10	8	16	14	7	4	3	
霧が丘義務教育学校	5	3	28	12	23	18	11	14	19	9	8	10	

資料 12 学校・クラス別生き物確認数 (その5)

区名	小学校名	学年	組	回答数	ツバメの巣	スズメ	カブトムシ	コウモリ	ススキ	アオスジ アゲハ	ヘビの なかま	カメの なかま	ホタルの なかま
緑	緑	5	1	28	23	26	18	14	16	20	8	10	6
	緑	5	2	32	24	28	24	11	22	20	11	5	9
	緑	5	3	34	26	29	21	12	24	25	8	7	8
	緑	5	4	32	28	32	26	13	27	18	11	10	10
	山下みどり台	5	1	24	15	23	15	7	20	18	12	9	11
	山下みどり台	5	2	19	7	18	15	6	13	15	11	9	6
	中山	5	1	32	24	30	12	10	19	22	9	18	10
	中山	5	2	33	23	30	14	9	20	22	14	21	11
中山	5	3	31	24	29	17	11	25	17	11	16	12	
青葉	さつきが丘	5	1	30	16	21	17	9	22	15	5	6	6
	さつきが丘	5	2	30	18	24	16	15	19	13	4	4	7
	さつきが丘	5	3	28	16	23	16	14	18	16	2	5	5
	みたけ台	5	1	38	19	34	21	11	26	23	9	12	14
	みたけ台	5	2	36	28	34	23	16	26	25	14	18	17
	もえぎ野	5	1	3	3	3	2	2	3	2	1	2	2
	もえぎ野	5	2	23	15	20	12	12	19	14	5	14	6
	もえぎ野	5	3	22	12	18	10	10	14	9	6	7	6
	苧田西	5	1	30	25	26	15	16	18	17	4	9	6
	苧田西	5	2	29	24	26	18	18	21	19	5	10	9
	苧田西	5	3	31	25	27	18	16	25	23	7	10	5
	苧田西	5	4	31	27	24	20	16	24	21	9	10	5
	榎が丘	3	1	27	19	22	14	12	20	15	5	9	7
	榎が丘	3	2	30	17	25	16	11	25	20	6	10	14
	榎が丘	3	3	30	27	26	12	11	29	21	7	8	4
	榎が丘	4	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1
	榎が丘	4	2	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0
	榎が丘	4	3	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	鶴志田第一	5	1	3	3	3	0	0	0	1	0	1	0
	鶴志田緑	5	1	33	30	28	20	18	21	15	11	15	28
	鶴志田緑	5	2	36	26	26	16	13	18	17	10	6	20
	桂	5	1	25	16	20	14	7	17	14	4	8	7
	桂	5	2	26	14	22	12	13	23	10	7	12	11
	黒須田	5	1	33	27	30	16	13	29	21	9	7	9
	黒須田	5	2	34	25	30	24	13	23	17	17	11	17
	黒須田	5	3	34	31	25	18	15	26	19	14	10	13
	新石川	5	1	33	30	29	23	15	25	25	8	17	12
	新石川	5	2	37	34	31	27	19	29	26	13	14	11
	新石川	5	3	35	33	31	23	17	23	29	5	13	3
	奈良の丘	5	1	11	7	11	7	6	8	7	5	6	4
	奈良の丘	5	2	18	13	16	7	12	14	11	4	4	9
	美しが丘	5	1	4	2	4	1	3	4	3	4	0	1
	美しが丘	5	2	19	8	13	13	9	16	8	8	6	7
美しが丘西	5	1	34	28	34	21	12	29	17	5	7	10	
美しが丘西	5	2	32	31	31	17	12	28	21	11	9	12	
美しが丘西	5	3	32	21	24	15	14	17	11	8	8	12	
美しが丘西	5	4	33	19	29	21	15	23	18	13	6	12	
嶮山	5	1	28	24	25	9	14	20	15	15	9	3	
嶮山	5	2	28	18	24	10	13	24	13	14	8	10	
都筑	すみれが丘	5	1	20	10	18	6	7	13	8	3	7	5
	茅ヶ崎台	5	1	3	2	3	2	1	3	3	1	3	1
	茅ヶ崎台	5	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1
	茅ヶ崎台	5	3	4	1	4	4	1	2	4	1	3	1
	茅ヶ崎台	5	4	4	2	4	2	2	3	3	1	4	0
	茅ヶ崎東	5	1	25	13	22	16	10	17	15	12	16	11
	茅ヶ崎東	5	2	30	11	27	21	9	24	21	13	19	9
	茅ヶ崎東	5	3	30	15	27	13	7	19	17	15	16	6
	茅ヶ崎東	5	4	31	16	26	18	4	19	19	12	17	4
	牛久保	5	1	29	17	26	18	13	23	24	14	16	11
	牛久保	5	2	28	13	25	19	10	24	16	11	12	10
	牛久保	5	3	26	14	23	17	6	22	20	5	13	2
	勝田	5	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0
	勝田	5	2	2	1	2	1	0	2	1	1	1	1
	川和	5	1	18	10	15	9	6	11	5	4	8	1
	川和	5	2	22	14	20	12	11	20	17	4	10	6
	川和	5	3	26	14	22	13	8	21	10	6	12	7
	川和東	5	1	28	16	27	21	12	22	24	3	9	7
	川和東	5	2	33	19	28	21	15	23	25	8	12	7
	川和東	5	3	29	12	24	22	10	22	23	3	12	7
	川和東	5	4	25	16	24	18	15	20	24	9	11	9
	川和東	5	5	30	22	28	24	18	26	26	8	16	11
	都田	5	1	28	18	25	16	11	13	17	13	8	7
	都田	5	2	32	23	30	15	12	21	18	10	5	5
	東山田	5	1	34	19	32	27	12	32	22	6	16	6
	東山田	5	2	33	21	32	22	10	27	24	12	18	9
	東山田	5	3	34	20	27	23	13	22	24	10	18	4

資料 12 学校・クラス別生き物確認数 (その6)

区名	小学校名	学年	組	回答数	ツバメの巣	スズメ	カブトムシ	コウモリ	ススキ	アオスジアゲハ	ヘビのなかま	カメのなかま	ホタルのなかま
都筑	南山田	5	1	24	10	21	12	9	16	18	7	13	5
	南山田	5	2	30	15	26	22	9	20	25	9	14	7
	南山田	5	3	29	18	27	21	11	19	24	10	21	8
	南山田	5	4	23	9	22	10	3	18	17	7	10	4
	北山田	5	1	25	12	24	14	9	16	17	9	15	3
	北山田	5	2	27	12	24	16	5	17	16	9	14	7
戸塚	北山田	5	3	22	8	17	14	3	20	13	4	15	3
	横浜深谷台	5	1	29	15	26	18	14	19	16	13	7	4
	横浜深谷台	5	2	29	18	22	18	26	22	16	8	3	8
	境木	5	1	30	14	27	19	7	20	22	6	18	5
	境木	5	2	29	17	29	20	13	21	23	7	17	5
	境木	5	7	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1
	秋葉	5	2	32	17	29	19	18	23	19	19	13	7
	秋葉	5	3	19	9	15	14	7	17	12	5	8	4
	秋葉	5	4	29	16	29	18	13	21	22	8	15	9
	秋葉	5	5	25	17	23	14	14	20	17	9	16	9
	上矢部	5	1	32	18	28	15	10	21	24	11	6	6
	上矢部	5	3	32	17	26	20	11	13	16	10	7	6
	川上北	5	2	2	2	2	2	0	1	2	1	0	0
	川上北	5	3	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
	大正	5	1	22	14	20	16	6	13	15	5	10	4
	大正	5	2	21	16	19	11	10	17	11	7	8	7
	大正	5	3	22	17	22	19	9	18	16	7	7	10
	鳥が丘	5	1	28	22	27	20	6	24	24	8	9	9
	鳥が丘	5	2	27	22	25	25	12	22	21	11	17	7
	鳥が丘	5	3	28	16	26	21	12	20	22	5	15	9
	東俣野	5	1	23	7	21	13	10	17	12	7	4	6
	東俣野	5	2	24	13	20	20	7	15	17	6	4	7
	南舞岡	5	1	17	8	13	9	1	14	10	3	3	8
	南舞岡	5	2	17	10	15	9	5	12	12	7	4	14
	品濃	5	1	27	20	25	14	7	24	18	5	5	7
	品濃	5	2	31	26	27	20	4	24	16	10	4	11
	品濃	5	3	29	25	27	18	10	22	21	8	11	14
	舞岡	5	1	24	18	21	14	13	18	16	14	9	20
	舞岡	5	2	20	10	18	13	4	11	12	10	6	11
	平戸	5	1	36	22	32	25	16	32	27	16	8	7
	平戸	5	2	34	23	33	28	13	29	29	15	12	12
	平戸	5	3	33	22	31	24	10	25	21	8	9	8
	栄	桜井	5	1	32	26	30	13	15	22	25	11	11
桜井		5	2	27	19	27	12	7	21	22	7	6	13
小山台		5	1	25	25	24	14	7	21	14	3	9	6
小山台		5	2	25	23	24	14	4	16	13	6	1	7
上郷		5	1	24	18	24	14	11	16	13	7	6	11
上郷		5	2	24	19	23	8	5	14	6	7	8	13
上郷		5	3	24	17	22	7	10	15	16	6	7	13
西本郷		5	1	26	18	26	8	12	18	21	11	17	3
西本郷		5	2	16	11	16	7	8	13	10	4	4	3
千秀		5	1	29	19	28	24	16	23	24	17	14	14
本郷台		5	1	25	18	25	10	5	18	13	3	9	5
本郷台		5	2	25	15	24	10	8	16	18	1	11	6
本郷台		5	3	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0
泉		いずみ野	5	1	22	11	22	15	3	16	12	14	7
	いずみ野	5	2	25	14	24	11	9	24	10	6	8	4
	岡津	5	1	30	21	28	21	11	20	16	8	13	9
	岡津	5	2	29	22	26	14	8	21	14	5	12	6
	岡津	5	3	30	19	28	16	16	23	22	14	12	9
	上飯田	5	1	35	25	33	30	14	25	19	15	11	8
	上飯田	5	2	34	25	29	23	14	21	22	10	14	9
	中和田	5	2	29	13	23	13	10	16	12	7	12	2
	中和田	5	3	28	15	23	13	9	11	14	4	7	3
	中和田	5	4	29	18	24	19	10	17	12	7	13	9
	緑園西	5	1	29	17	24	17	12	19	18	9	7	10
	緑園西	5	2	25	18	23	9	9	19	15	8	9	10
	緑園東	5	1	22	13	21	15	5	18	16	9	8	14
緑園東	5	2	27	17	25	16	11	23	17	12	13	17	
瀬谷	原	5	1	17	14	15	15	6	12	10	8	6	5
	原	5	2	26	20	23	21	8	16	14	11	9	8
	原	5	3	25	20	22	17	8	16	13	8	7	5
	原	5	4	27	19	23	21	2	18	12	7	4	6
	原	5	5	28	23	24	18	6	17	15	8	4	3
	三ツ境	5	1	88	56	81	64	20	60	54	33	31	20
	瀬谷さくら	5	1	22	14	18	12	6	15	6	5	4	2
	瀬谷さくら	5	2	26	21	24	18	16	18	16	8	7	7
	大門	5	1	30	13	23	17	6	18	6	4	4	7
	大門	5	3	25	10	21	20	3	13	11	2	2	3
総計				11,037	7,433	10,122	6,211	3,982	7,582	7,034	3,386	3,894	2,968

資料 13 これまでに調査対象とした生き物

分類	生き物の名前	1984年	1987-88年	1991年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年
植物	カントウタンポポ	○	○	○								
	タンポポのなかま				90							
	つくし					63						
	ふきのとう						33				30	
	レンゲソウ(ゲンゲ)							52				
	ススキ								72			69
	ウキクサ	○										
	ドングリのなる木	○										
	ヤマユリ			○								
哺乳類	モグラ		○	○								
	リス				35			38			42	
	コウモリ		○	○	46				46			36
	タヌキ		○	○		18				20		
	アライグマ					6				8		
	ハクビシン					8				12		
鳥類	ツバメの巣				77	78	77	75	77	76	73	67
	白サギのなかま		○	○				23			26	
	カモメのなかま							37				
	ハクセキレイ							35				
	カワセミ					22				20		
	ウグイス(の鳴き声)							81				
	スズメ								94			92
	ハッカチョウ										8	
爬虫類	ヘビのなかま		○	○	37				37			31
	トカゲ		○	○								
	カメのなかま								44			35
両生類	オタマジャクシ	○										
	トウキョウダルマガエル(トノサマガエル)		○	○								
	アマガエル					42				42		
	ヒキガエル						38				28	
昆虫類	カブトムシ	○			72		70		69		68	56
	クワガタ	○										
	ノコギリクワガタ		○	○		50		50		52		
	バッタのなかま				84							
	ゼミ(の鳴き声)				97							
	ヒグラシ		○	○								
	クマゼミ(の鳴き声)					72						
	カマキリのなかま						80				78	
	ハグロトンボ							38				
	ナナホシテントウ							81				
	アオスジアゲハ								63			64
	ホタルのなかま	○	○	○					37			27
	ミンミンゼミ(の鳴き声)									96		
	ヤゴ	○										
	ゲンゴロウ	○										
	ミズカマキリ		○	○								
	オニヤンマ		○	○								
スズメバチ(巣も含む)		○	○									
クツムシ		○										
魚類	ヨシノボリ	○	○	○								
	ドジョウ	○	○	○								
	フナ	○	○	○								
	コイ	○										
	アブラハヤ(ハヤ)	○										
	モツゴ(クチボソ)	○										
メダカ	○											
その他の動物	カワニナ	○	○	○								
	タニシ	○										
	アメリカザリガニ	○			44							
	サワガニ	○	○	○			28				22	
	ダンゴムシ							95				
カタツムリ							69					

※2013年以降の数値は、市全体の確認率(%)

資料 14 こども「いきいき」生き物調査 検討委員会 名簿 (令和3年 12 月時点)

氏名	所属	補職
横山康孝	都筑区都田中学校	校長
尾上伸一	金沢区六浦小学校	校長
藤岡一俊	神奈川区西寺尾第二小学校	校長
鈴木康史	港北区小机小学校	校長
柴田耕治	旭区中沢小学校	副校長
前島 潤	中区山元小学校	副校長
田中孝之	南区南太田小学校	主幹教諭
山下智弘	都筑区中川小学校	主幹教諭
伊藤憲生	栄区飯島小学校	主幹教諭
三上卓也	港南区南台小学校	教諭
渡辺 徹	小中学校企画課	指導主事
安藤成晃	環境創造局政策課	担当係長
長澤 亮	環境創造局政策課	職員
蓮野智久	環境創造局環境科学研究所	担当係長
七里浩志	環境創造局環境科学研究所	職員
川村顕子	環境創造局環境科学研究所	職員
潮田健太郎	環境創造局環境科学研究所	職員
中里亜利咲	環境創造局環境科学研究所	職員